

乙女たちの戦車道ライフをサポートする専門誌

第63回
戦車道
全国高校生大会
増刊 第4号

月刊 戦車道

アリクイさんチーム結成の秘密を公開！
大洗女子チーム［茨城］の日常

一世を風靡した多砲塔戦車が集合！
不肖・秋山優花里の
戦車講座

巻頭特集 アンツィオ高校戦の舞台裏とは!?
グラフィック イン アクション

好評連載中 最大のライバル・黒森峰といよいよ激突！
聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡
聖グロリアーナ女学院［神奈川］X 黒森峰女学園［熊本］への道〈第4回〉

雪上の王者・プラウダ高校の実力を解説
ライバルチーム研究

もっとも成長したウサギさんチームを直撃
大洗女子［茨城］チームメンバー 戦車愛を語る

OVAに隠された秘密に迫る
ガルパン トピックス

各証言から紐解く、関係者のガルパン愛！
プロジェクトG～ガルパンを支えた人びと～



グラフィック イン アクション
GRAPHIC IN ACTION



何度もよみがえるCV33の脅威

イタリアのタンケッテ・CV33の重量は約3トン。そのため、確実にウィークポイントを撃ち抜かなければ、その軽さゆえ砲弾のショックを受け流してしまうのだ。

その利点を活かしたアンツィオ高校は、ひっくり返ったCV33を何度も立て直して戦線に復帰。あたかも、不死身のような印象を大洗女子に与えた。だが約3トンもの車輛を元に戻すのは、女子高校生にとってかなりの重労働であった。

【大洗女子チームの日常】



第四話「電子の戦車道です！」

本物の戦車を動かすことになった三人が、腕試しのためネット戦車ゲームで役割分担してプレイ。果たしてうまくいくのか!?



航行中は陸地と隔絶されている学園艦だが、もちろん通信はつねに可能で、ネットもその例外ではない。

「や、やった。撃破数、95輌……」

ここにもひとり、学園艦でネットの恩恵に浴する女子高生がいる。

「戦果もかなり稼いだし、これで強力な砲弾をたくさん買える……」

つぶやきながらマウスをクリックし、ゲームで用いる砲弾を購入する〝ねこにゃー〟――本名は猫田なのだが、ネットの世界ではこちらの名前の方が通りが良いらしい。彼女は今、オンライン戦車ゲームで一日の撃破数の自己記録を更新し、達成感に浸っていた。

そこに、チャットが飛んでくる。

《ももがー◇すごいナリー！　さすがねこにゃーさん！》

《ぴよたん◇お見事だっちゃ〜》

ＰＣ画面の片隅に躍る文字を見て、ねこにゃーの頬が緩む。

「ももがーさんとぴよたんさん、観戦してくれてたのか……」

なめらかなタッチでキーボードを叩くねこにゃー。

《ねこにゃー◇まぐれです》

すると、すぐさま返事が来る。

《ぴよたん◇まぐれじゃないですよー、無駄弾一発も撃ってなかったっちゃ！》

《ももがー◇アンブッシュを見抜いて裏を取る動きとか、いざというときのラムアタックとか、すごく参考になるナリ♪》

チャットの相手〝ぴよたん〟と〝ももがー〟は、この戦車ゲームで知り合ったゲーム仲間。二人とも、ねこにゃーと同じ、大洗女子学園の高校生とのことだ。

《ねこにゃー◇恐縮です(汗)。ところでお時間ありますか？　よければチーム戦いきます？》

ねこにゃーがこう打ち込むと、二人から即座に了承の返事が来た。

時刻は深夜０時。しかしこの三人の夜はまだまだ、終わりそうにない。

×　×　×

翌日。

昨夜は結局午前４時まで戦車ゲームに熱中してしまったのだが、そんなことは微塵も感じさせない様子できちんと席に座り授業を受けているねこにゃー。

ぴよたんやももがーと一緒にチーム戦を楽しんでいると、つい興が乗ってしまい明け方まで遊んでしまうことがしばしばあるのだが、寝過ごして遅刻したり、授業中居眠りをするようなことは今のところ一度も無かった。どれほどゲームに夢中でも、そのへんは乱れない。

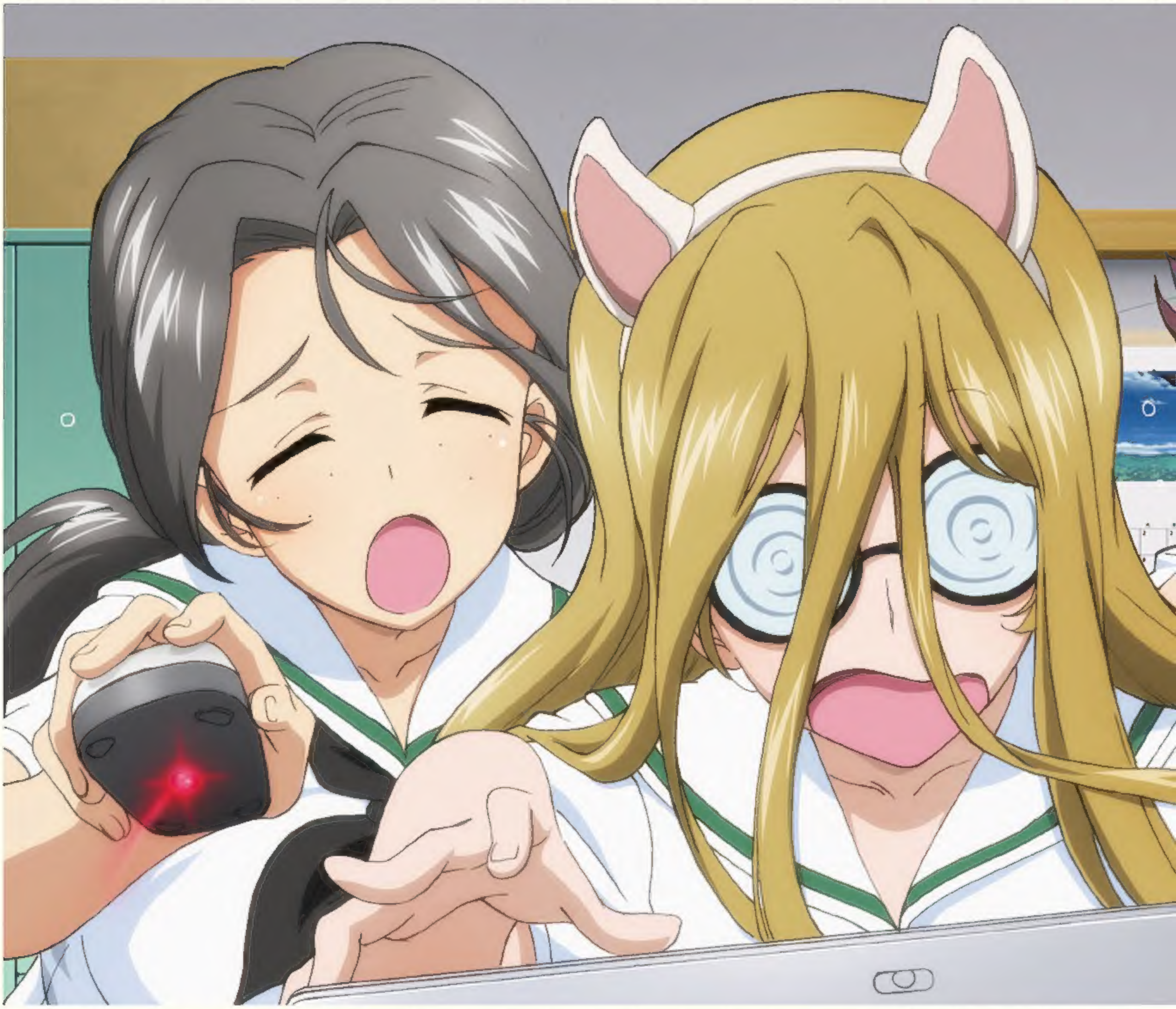
ところが最近、そんなねこにゃーの心を乱すものがあった。

戦車道である。

ふと気がつくと考えている。なぜ必修選択科目で、戦車道を履修しなかったんだろう、と。戦車ゲームに熱中するくらいだから、もちろん戦車には興味がある。履修しなかった理由はただ一つで、ネットではそこそこ積極性を発揮できるのだが、リアルではとことん引っ込み思案という彼女自身の性格だった。

（でも、まだ募集してるみたいだし、同じクラスに西住さんもいるし、ボクもいつか戦車道を……）

そう思い続けているうちに親善試



合が終わり、一回戦も終わり、二回戦の直前に一度勇気を振り絞って廊下でみほに声をかけたのだが、折悪しくみほがチームメイトに呼ばれた瞬間に重なってしまい、ねこにゃーの声は届かなかった。そしてついに、準決勝も終わってしまう。ゲームだけではなく、リアルでも戦車に乗りたいねこにゃーにとって、最後のチャンスが近づいていた。

× × ×

この日の夜もねこにゃーは、もはや日課になっているオンライン戦車ゲームをプレイしていた。経験値や報酬をコンスタントに稼ぎ、ネット対人戦ゆえに日々変化する戦術のトレンドも把握しなければならない。『継続は力なり』という箴言はこの種のゲームにも当てはまるということを、ねこにゃーは知っていた。そのねこにゃーが、戦闘の手を休めチャット欄をアクティブにする。

《ねこにゃー◇明日、西住さんに言おうと思います》

ももがーとぴよたんだけが読める、チームチャットである。

《ももがー◇おおおー、ついに私たちも、リアル戦車に！》

《ねこにゃー◇まだOKもらえるかわからないけど、たぶん大丈夫だと思います》

《ぴよたん◇ということは、私たちリアルで会えるっちゃね》

ぴよたんのチャットを見て、喜びつつも緊張するねこにゃー。

そう。この三人、同じ学校に通っていて、なおかつさんざんネットで協力プレイを重ねてきているのだが、まだ実際に顔を合わせたことが無いのだ。

「こ、これはドキドキする……いろんな意味で……」

ひとりつぶやくねこにゃー。

「で、でも……がんばれボク！」

× × ×

そしてまた翌日。

ねこにゃーの勇気は実を結び、大洗女子学園に新しく「アリクイさんチーム」が誕生した。彼女たちが担当する三式中戦車は整備が必要で、「リアル戦車に乗る」のはしばらくおあずけになったのだが、とにかく本物の戦車を動かせることは確定したのである。

「あー、うずうずするナリー！」

両手を前に突き出し、操縦レバーを動かすような仕草で言うももがー。

「早く撃ってみたいっちゃ！」

ぴよたんも興奮で上気しているらしく、頬が赤い。リアルでは今日が初対面だが、ネットでの交流が長かったおかげか、あっというまに打ち解けた三人が一緒に下校している。

「こ、この熱気を鎮めるには……やっぱり、アレしかないよね」

ねこにゃーはまだ少し緊張しているようだが、それでもやはりうれしそうな雰囲気を醸し出している。

「アレっていうのはもちろん、アレっちゃね！」

「うん、やろうナリ！」

「じゃあ、せっかくリアルで会えたことだし、ボクのうちで一緒に……」

かくしてこの夜、いつもはオンラインでチームを組んで共闘している三人が、ねこにゃーの自室に集まって戦車ゲームをやることになったのだった。

「こ、これはドキドキする……いろんな意味で……。で、でも……がんばれボク！」



×　×　×

「うわぁ、カッコいいっちゃ！」

「さすがねこにゃーさん、PCも妥協しないナリね」

　部屋に招き入れられた二人が、まずはPCを褒める。ねこにゃーのPCケースは、前面と上面に大きな通風口を配した本格的なものだった。

　そのPCに、マイクを接続するねこにゃー。

「あれ？　マイクつなぐナリか？」

「いつもはボイスチャット使わないのに」

　ももがーとぴよたんが疑問を口にすると、

「あ、これは、ネット配信しようと思って、この前買ったんだ……」

　ねこにゃーは、意外な理由を口にした。

「ネット配信って、生放送とか？」

「いつものゲームを、配信でいろんな人に見せるナリか？」

「うん。ボクひとりじゃ無理だけど、みんなと一緒ならできるかも……と思って……」

　もじもじと胸の前で指を組みながら言うねこにゃー。

「だ、だめかな……？」

「ううん、そんなことないっちゃ！　やろうよ、ネット生放送！」

「わたしの操縦テクを世界中のゲーマーに見せつけてやるナリ！」

「ほっ……ありがとう」

　おずおずと切り出したねこにゃーだったが、ぴよたんとももがーが乗り気のようでひと安心。早速ゲームを起動し、プレイ画面をネットで配信できるように設定する。

「せ、戦車道の試合も大勢の人が見に来るし、テレビでも放送されるから……今のうちに、少しでも慣れておいた方がいいかなって」

　これが、ねこにゃーがネットで生放送しようと思う理由だった。リアルでは引っ込み思案な自分が、試合で緊張してみんなに迷惑をかけてしまうかも知れない。それに、人目を気にしておどおどしていては、せっかくのリアル戦車を楽しむこともままならない。だから少しでも、人に見られることに慣れておきたかったのだった。

「えーっと番組名は……『戦車ゲームやるよ　初放送です』画面キャプチャは、これでいいのかな？　じゃ、放送開始、と……」

　アリクイさんチームのネット生放送が始まる。

《初見　ん　初放送か》

《お邪魔します》

「おー、ちゃんと見に来てくれる人がいるナリ」

　流れ始めた視聴者のコメントにももがーが反応すると、

《ん？　女の子か》

《戦車ゲーは女子の方がうまいっていう風潮》

《早く戦闘を見たいであります》

　などなど、様々なコメントが付く。

「えー、というわけで……ボクたち初めての放送なんですけど、一生懸命やりますので、よろしくお願いします……」

「よろしくだっちゃ！」

　たどたどしく挨拶するねこにゃーに、すかさず乗っかるぴよたん。

《三人いるのか！　友達どうし？》

《いいねー、がんばれー》

《遊びに行ってもいいですか？》

　二人の声にも、視聴者は続々とコメントを寄せる。

「うう……想像以上に見られてる感があるよコレ……」

「最初は誰がやるナリ？」

「私、やるっちゃ！」

　緊張するねこにゃーと、テンションが上がるももがー・ぴよたん。まずは最初に手を挙げたぴよたんがキーボードの前に座り、マウスを握る。

「ぴよたんさんお願いします」

「いつも通りやれば楽勝ナリ！」

「腕が鳴るっちゃ♪」

　ぴよたんは格納庫からMk・Ⅷ、チャレンジャー巡航戦車を選び出撃。

《いい戦車持ってるなぁ～》

《結構やりこんでるよね、これ持ってるってことは》

《期待できるであります》

　などなど、このゲームをよく知る視聴者と思われるコメントが流れるなか、ぴよたんはゆっくりとフィールドを移動。建物の影に入り、長い射程距離を活かして巧みな狙撃を繰り返す。

「さすが、砲撃の正確さはぴよたんさんが一番です」

「頼もしいナリ～！」

　戦闘終了。ぴよたんは5輌の敵戦車を撃破し、無傷で帰還した。

《やるじゃん》

《見事であります》

　などなど、賞賛のコメントが流れるなか、2番手ももがーに交代。

「行くナリよー！」

　M24チャーフィーをチョイスしたももがーが、颯爽とフィールドに飛び込んだ。軽量快速を活かして相手の側面・背後に肉薄し砲撃。軽微な損傷を受けつつも、着々と敵を撃破していく。

《操縦うまいなこの子》

《大活躍であります》

　ふたたび賞賛のコメントが流れ、も

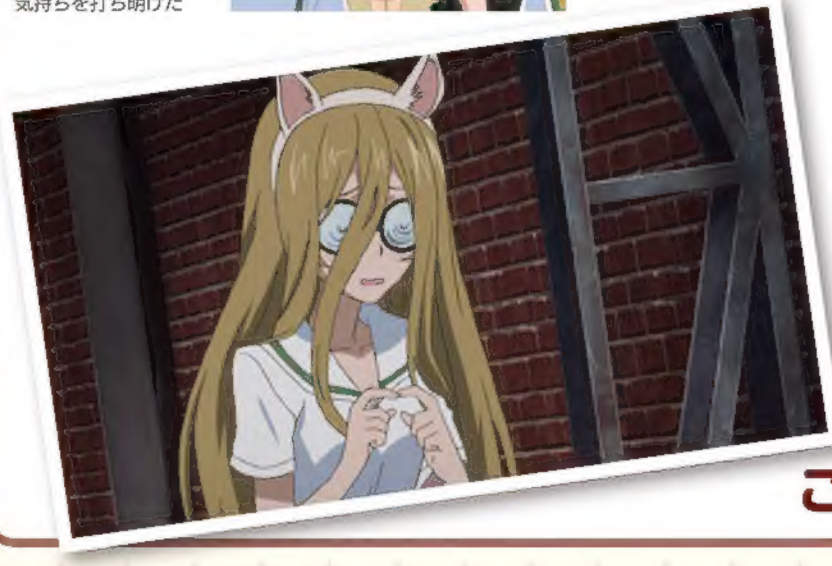
やっとの思いで参加の意志を告白

本当は、戦車道をやってみたかったねこにゃー。でもおとなしい性格のため、みほに声をかけられなかった。それでも決勝戦の前に、やっとの思いで自分の気持ちを打ち明けた











月夜に誓った初試合での勝利

戦車道では初心者とはいえ、勝利を願う気持ちはほかのチームと一緒だったアリクイさんチーム。験担ぎで串カツを食べるなど、各チームと同じ行動を取って必勝を期していた

こんなこともありました【生活編】

あんなこともありました【試合編】

ゲームと違った戦車の操縦

ネットの戦車ゲームで操縦や射撃技術を培っていたとはいえ、本物とゲームでは大違い。とくに三式中戦車はクセのある車輌で、操縦手のももがーは、重い変速ギアに苦労していた





ケガの功名でフラッグ車を防御

森林地帯を突破した黒森峰側の奇襲に、隊列を崩す大洗女子。なかでもアリクイさんチームは、ジグザグ走行ができないばかりか、いきなり後進してしまう。だが、この後進が偶然にもフラッグ車を守ることに。ある意味、最大のピンチを救った殊勲者と言えるだろう







次回大会での活躍を誓う3人

決勝戦では、残念ながら緒戦で撃破されてしまったアリクイさんチーム。だが、みほとまほの一騎討ちを固唾を飲んで見守っていた3人は、ますます戦車道に魅せられた模様。来年こそは頑張ろうと、さらに結束を高め合うのだった





ももがーも上々の戦果を挙げて生還。
今のところ、ゲームも生放送もうまくいっている。次は、ねこにゃーがプレイする番だ。
「あの……試したいことがあるんだけど……」
そのねこにゃーが、ももがーとぴよたんの顔を交互にチラチラと見つつ言う。
「ボクが操縦するから、ぴよたんさんかももがーさんのどちらかに、砲塔操作をやってほしいんだ……」
《役割分担するのか》
《難しそうだな》
《興味深いであります》
ねこにゃーの提案に、コメントも盛り上がる。
「もうすぐ本物に乗るから、その前に、ちょっとでも本物っぽいことをやってみたくて……」
ゲームではひとりですべての操作を行うが、実際の戦車ではそうはいかず、分業が必須になる。それを、形だけでも経験しておきたいということなのだろう。
「わかったナリ！　じゃあ、私は今プレイしたとこだし、ぴよたんさんにお願いするナリ！」
「任せるっちゃ！」
「あ、ありがとう二人とも！」
配置は決まった。
ねこにゃーがキーボードに手をかけ、ぴよたんがマウスを握る。選んだ戦車は――三式中戦車。
「よ……よろしくお願いします」
「こちらこそ！」
ねこにゃーとぴよたん、二人が操る三式中戦車が戦場に出る。
「ま、まずはエリアC9の茂みに入ります。このマップだとC7を通る戦車が多いはずなので、それを狙ってください」
「了解だっちゃ！」
《おお、戦車長と砲手の会話だ》
《サマになってる》
《的確であります！》
「ねこにゃーさんカッコいいナリ！
コメントも、ぐんと増えてるナリ！」
目立たないようにマップの端を進行し、茂みに入って停車した三式中戦車。その直後主砲が火を吹き、側面を見せて走行していた敵戦車に命中。
「おおお――！　ねこにゃーさんの戦術がズバリ当たって、ぴよたんさんの偏差射撃が見事敵戦車の側面を貫通したナリ！」
マイクを握りしめ、まるで実況アナウンサーのようにノリノリのももがー。
《すげえ》
《完璧であります！》
さらに加熱するコメントを読む暇も無く、すぐにその場を離れるねこにゃー。同じ場所に留まらないことが生存率を高める。
「次はどこだっちゃ？」
「稜線射撃で狙ってみましょう」
三式中戦車が小高い丘を登る。
「ここでギャンブルに出た三式戦車！　俯角が小さいのにあえて稜線射撃ナリ、カッコいいナリ！」
そのときだった。
「あ、あれ？」
三式中戦車があらぬ方向に直進し始め、モロに敵前に姿をさらしてしまう。
「どうしたっちゃ!?」
「え……〝A〟のキーが……効かない……？」
連日連夜の酷使に耐えかねたキーボードの〝A〟が、よりにもよって戦闘中に壊れてしまったらしい。
「どどど、どうするっちゃ！？」
「み、右旋回と前進後退だけでも行きたい方向には行けるので……」
「それ、ものすごい大回りになるナリよ！　絶体絶命ナリ！」
《ちょｗｗｗ》
《なにその縛りプレイｗｗｗ》
《キーボード交換しろｗｗ》
《やばいやばいｗｗめっちゃ狙われてるｌｗｗｗ》
《実車でも起こりえるトラブルです、克服してほしいであります!!》
コメントの勢いが一気に加速する。ゲーム的には大ピンチなのだが、生放送的には大ウケのようだ。
「な、なんのこれしきだっちゃ！」
ぴよたんが意地を見せ主砲を発射するが回避を優先している現状では当たるはずもなく、それどころか味方戦車の間近を掠める始末である。
《アカンｗｗｗ》
《冷静な対処が必要であります！》
「こ、こんなことになるなんて……」
怒濤の攻撃と怒濤のコメントに晒されつつ、こうして彼女たち三人の生放送は幕を閉じた――

×　×　×

ところ変わって、ここは秋山理髪店の二階、優花里の自宅。
「いやー、機材トラブルは気の毒でしたが、おもしろい生放送でした」
あの放送をしていた三人が数日後、決勝戦で奇跡的なファインプレーを演じることになろうとは、このときの優花里には知る由も無かった――

第4回

ライバルチーム研究

全国大会の決勝戦常連校であり、準決勝で大洗女子を追い詰めたプラウダ高校のほか、ベルギーを手本にしたワッフル学院をピックアップ。さらに今大会未出場の高校にも、今回から焦点を当てていきたいと思います。

プラウダ高校

Pravda High School

青森県にある学校で、本来は大湊を母港としているが、利便性を考慮して青森港を主要な停泊地としている。また、ウラジオストクが友好港なので、定期的に交流のために寄港している。

学校自体の歴史は、ロシア帝国が極東開発の拠点としてウラジオストクに港湾を作り上げている時に始まっている。日本に必要な艦艇や機材の保守と修理を依頼したり、港湾建設用の物資や人員を運ぶ船が、距離が近くて設備が整った日本に寄港したことで、多くのロシア人が日本各地に居住するようになった。このとき、函館、新潟、敦賀なども寄港地の一つであったが、最終的に重要拠点の一つとして青森が選ばれ、1907年には青森とウラジオストクを結ぶ航路が開かれた。この航路によって、ロシアとの交流が増加。青森に居住するロシア人の学校も作られるようになった。1890年代から航路が開かれていた、青森の対岸にある函館との交流も多かったが、青森が学校も含めた居留地用の土地を提供したことで、次第に青森とロシアの交流も増加した。その後、この航路を通じて白系ロシア人が大量に日本に亡命。それら子弟の教育施設兼居住地として、中古艦を学園艦に改装して使用したのが、プラウダ高校の始まりとなっている。

当初、戦車道は盛んではなかったが、他校での活発化や大会の開催を受けて、徐々に力を入れるようになった。とくに、ウラジオストクから直接戦車が入手可能になると、T-34系列を筆頭に優秀な車輌が多数集まり、強豪校の一角に名乗りを上げるようになった。1980年代後半には、T-34系列のみならず、IS-2などの強力な車輌とその関連機材も入手。戦力はますます強化され、決勝常連校として黒森峰と優勝を争うのが恒例となっていった。また整備科の能力も非常に高く、粗製濫造気味で必ずしもカタログスペック通りの能力を発揮するとは限らないソ連戦車を、完璧に仕上げている。多数の車輌の中から良好なパーツを選別して組み合わせ、さらには光学機器や通信機、電装系などを他国の物に交換。重いギアボックスを少しでも変速が容易なように調整を行うなど、さまざまな改良が加えられている。

この改良の優秀さは、交流のためにやってきたロシアの学校が、プラウダ高校のT-34を使用した時、「これがプラウダだ!」と叫んだことからとても有名になった。おそらく、「これこそが真実のT-34だ」というニュアンスだったのだろうが、「真の戦車道精神がここに」などと別な意味に解して、時折プロパガンダに用いられている。また、ロシアなどで戦車道をやっている学校から、車輌のレストアを頼まれることもあり、この際に各種保守部品や予備の車輌を入手している模様。

保有車輌は、おもにT-34/76、T-34/85、KV-1、KV-2、IS-2、BT-7など。ただし近年KV-1は予備車輌となっていて、試合に出てくることはまずない。また、サンダース大学付属に次ぐ車輌保有数を誇り、とくにT-34系列は、十分な台数を保有。自走砲や軽戦車を予備車輌にできる余裕は、戦車が少ない学校からは羨望のまなざしで見られている。50輌対50輌のフル編成での戦いができるのは、日本中の学校でもサンダース大学付属とプラウダ高校だけであり、両校の稼働車輌の多さがよく分かる。

生徒の多くは朴訥で真面目。規律も正しく上の命令をよく聞くので、優秀な隊長に率いられた時はそれにふさわしい結果を出す。しかし選手たち個々の柔軟性は乏しく融通が利かないので、隊長次第で総崩れになることもあり、過去には単純な策にはまって初戦敗退したこともある。また、ロシアの貴族文化が多数流入しており、とくに食事とスイーツでそれが著しい。ロシア料理に欠かせないビーツを学園艦内で栽培しており、日本風にアレンジされていない、本来

プラウダ高校の選手たち

ニーナ

青森県むつ市出身で、血液型がO型の15歳。好きな科目は音楽。趣味はSNSをすることで、日課は筋トレ。好きなお菓子はリンゴゼリーで、松前漬も好んで食べている。なお、座右の銘は「どの野菜にも旬はある」である









ノンナ

網走市出身の17歳。血液型はO型で、好きなお菓子は、ロシアのケーキ・シャルロートカである。「カチューシャ日記」をつけることが日課で、趣味は歌を歌うこと。座右の銘は「同じ羽の鳥は生まれない」としている

カチューシャ

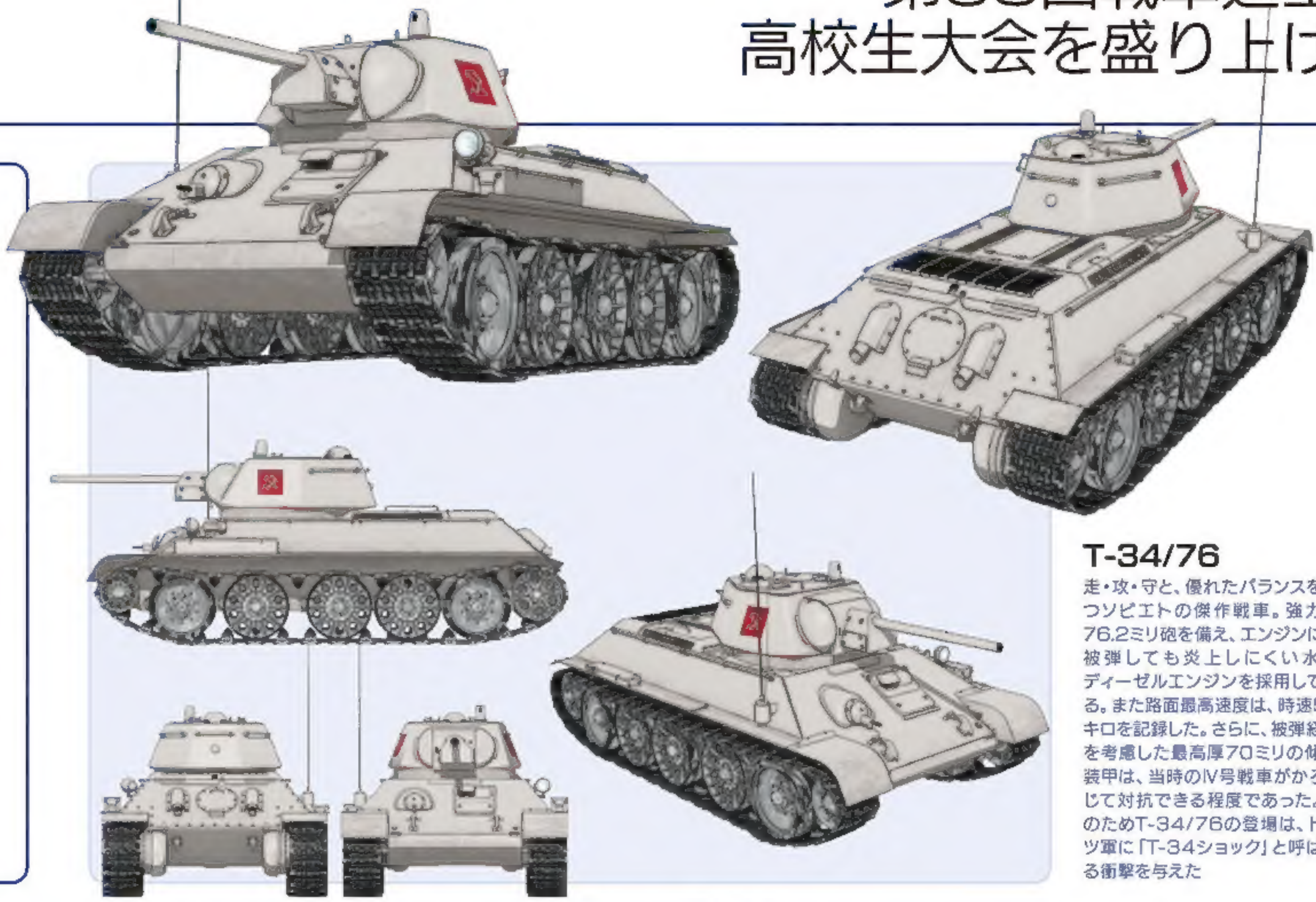
北海道網走市出身の17歳。現在は女子寮に住んでいる。血液型はB型で、好きな科目は音楽。日課として、ぶら下がり健康器を使っている。好きなお菓子は、焼き菓子のプリャニキ。座右の銘は「謝罪は一回すれば十分だ」である





第63回戦車道全国高校生大会を盛り上げた

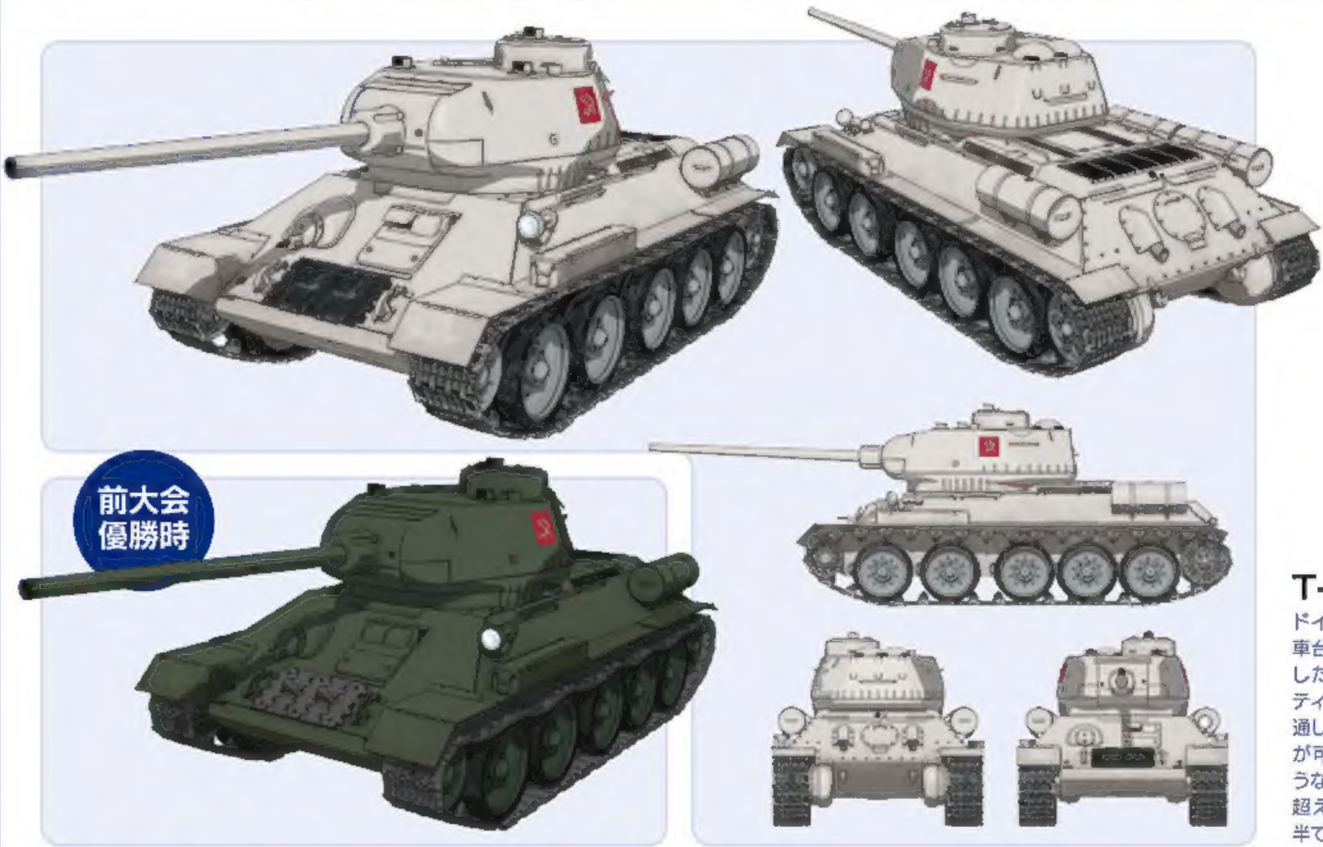
プラウダ高校の使用戦車1



T-34/76

走・攻・守と、優れたバランスを持つソビエトの傑作戦車。強力な76.2ミリ砲を備え、エンジンには被弾しても炎上しにくい水冷ディーゼルエンジンを採用している。また路面最高速度は、時速55キロを記録した。さらに、被弾経始を考慮した最高厚70ミリの傾斜装甲は、当時のIV号戦車がかろうじて対抗できる程度であった。そのためT-34/76の登場は、ドイツ軍に「T-34ショック」と呼ばれる衝撃を与えた

のロシア料理が食べられる。また赤いボルシチと白いビーフストロガノフのセットは、美しい色のコントラストからプラウダ高校学園艦の名物となっている。



T-34/85

ドイツのティーガーIに対抗すべく、T-34の車台に85ミリ高射砲を改良した主砲を搭載した戦車。その主砲の威力はすさまじく、ティーガーIの正面装甲100ミリを楽々と貫通した。また大型化した砲塔内に3人の配置が可能となり、戦車長が指揮に専念できるようになったことも特徴。さらに約25,000輌を超える大量生産により、第二次世界大戦後半ではドイツ機甲師団を圧倒した

そのほかの使用車輌

BA-64装甲車



第二次世界大戦中、ソビエトが唯一開発した、軽装輪装甲車。ソビエト版ジープと呼ばれたGAZ-64をベースに、装甲を施された車輌である。武装は7.62ミリ機関砲のみで、装甲も小銃弾程度にしか耐えられなかった

RF-8アエロサン



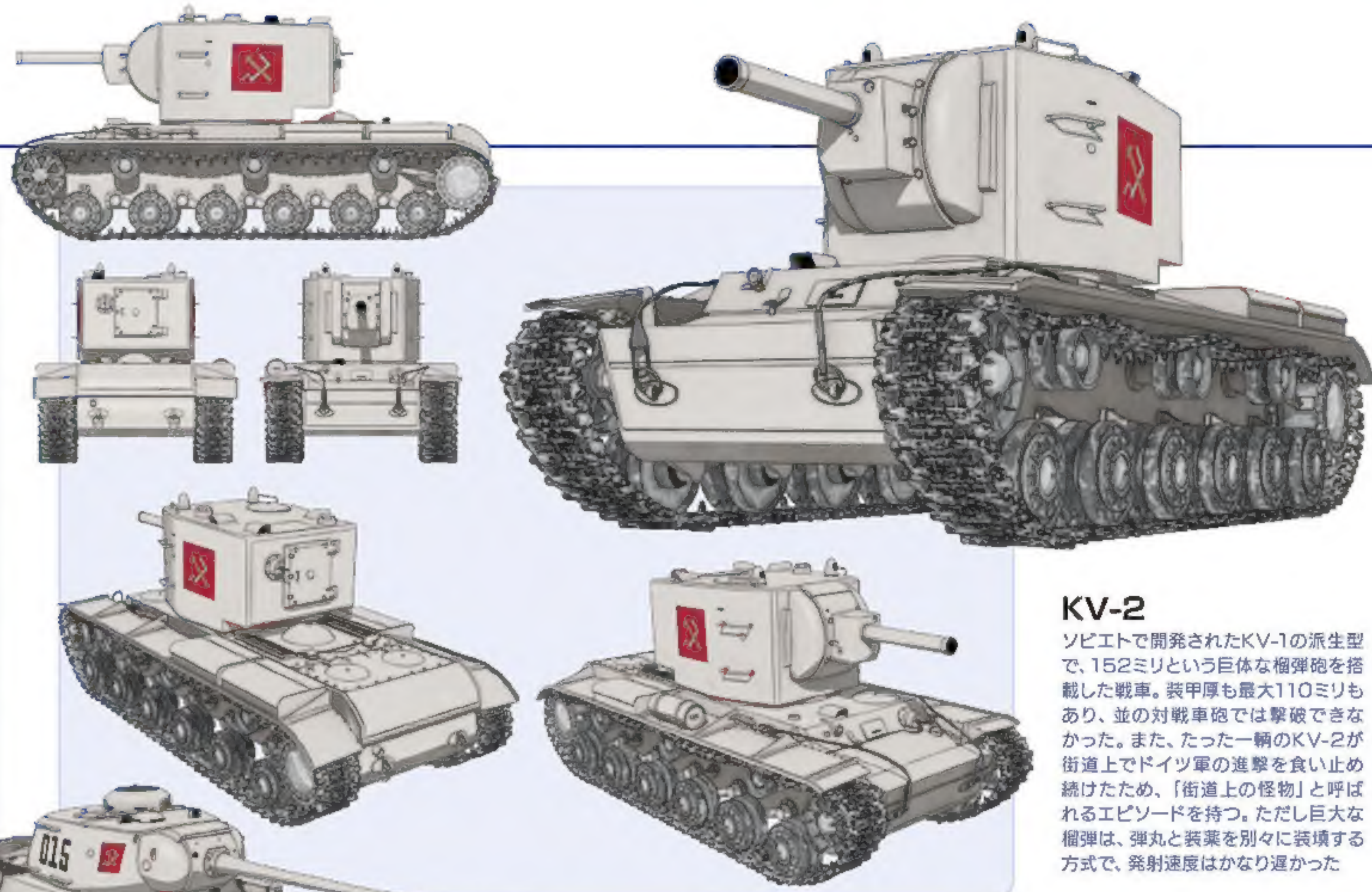
ヘリコプターの近代化に貢献した、イゴール・シコルスキーにより開発された、プロペラ推進式のスノーモービル。1939年の第一次ソ連・フィンランド戦争(冬戦争)や第二次世界大戦時には、連絡や偵察用に活用された

BM-13カチューシャ



ソビエトの自走式多連装ロケットランチャー。軍用トラックの荷台に発射装置だけのシンプルな構造ながら、驚異的な面制圧効果を発揮。その甲高い発射音から「スターリンのオルガン」とドイツ軍に恐れられていた

プラウダ高校の使用戦車2



KV-2

ソビエトで開発されたKV-1の派生型で、152ミリという巨体な榴弾砲を搭載した戦車。装甲厚も最大110ミリもあり、並の対戦車砲では撃破できなかった。また、たった一輌のKV-2が街道上でドイツ軍の進撃を食い止め続けたため、「街道上の怪物」と呼ばれるエピソードを持つ。ただし巨大な榴弾は、弾丸と装薬を別々に装填する方式で、発射速度はかなり遅かった



IS-2

「スターリン」とも呼ばれた85ミリ砲を持つIS-1の改良型で、コンパクトな砲塔に122ミリ砲を搭載した戦車。これにより、ティーガーⅠの前面装甲を軽々と貫徹。重量も約46トンと軽く、路面を最高で時速約37キロで走行できた。その反面、装弾数は28発と少なく装填方法もKV-2と同じ弾丸と装薬の分離式だったため、発射速度が遅いという欠点もあった

メイプル高校

Maple High School

苫小牧港を母港とする学校。

1877年に永野万増がカナダに移住して以来、日本とカナダは交流が深く、とくにカナダから訪れた使節団は、西洋思想を日本の教育に持ち込み、いくつもの学校設立に協力している。日本からカナダへの移民も多く、1889年にバンクーバーに領事館を設置。カナダ側も1929年に公使館を東京に置き、さまざまな分野で相互に緊密な協力関係を築いて行った。そのなかで気候風土がカナダに似ている北海道にカナダ側が注目。農業、林業、文化面での交流を進めた。とく漁場が被っている北洋での漁業における相互協力の体制を構築したことから、苫小牧に教育施設を設立。それが南北海道地域（北海道は北と南の二地域制度を採用）の教育を担当するメイプル高校となった。その際に、イギリスで未完成状態だった学園艦を購入。艦内に大量の森林を植林したことで、全学園艦のなかでも有数の自然環境を持つ艦となっている。

戦車道は活発で、機動戦術を得意としている。使用車輌はラム巡航戦車、グリズリー巡航戦車が主力。ほかにもバレンタイン歩兵戦車や雑多な軽戦車などを保有しているが、それらはほとんど使われていない模様。

ラム巡航戦車



ラム巡航戦車

M3 中戦車のエンジンとシャーシを流用した、カナダの戦車。M3 中戦車の 75 ミリ砲を廃して、全周旋回砲塔を装備。Mk. Ⅰと呼ばれる前期型では、２ポンド砲（40 ミリ）が搭載された。その後、６ポンド砲（57 ミリ）を備えた Mk. Ⅱが開発されたが、M4 シャーマンの登場により必要性が急速に低下。その多くが実戦配備されず、訓練用として使用された

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

ワッフル学院

WAFFLE

Waffle High School

ワッフル学院の使用戦車



ルノー AMC35

神戸港を母校としている学校。1873年に岩倉使節団がベルギーを公式訪問して以来、隣接する大国と列する姿に、多くの日本人が自らの進むべき道を見出した。そのため多くの政治家、教育者、軍人などが視察を行い、神戸に友好協会を設立した。この友好協会が関西圏企業による支援を受け、ベルギー文化を学ぶ場へと発展したのが、学院の始まりである。またベルギーは資源が少ない貿易国家であり、海外から輸入した原料を半製品や製品に加工して輸出する産業が発達していた。この点でも学ぶところが多く、関西圏企業が着目した理由でもあった。そのため、表向きは文化を学ぶとしつつも、実際には繊維産業、鉄鋼、各種工業の技術習得と、欧州へ加工物を輸出する窓口となっていた。そのような経緯から、開設当初の名は白耳義交流学院、次いで白耳義工業交流学院となった。だが日本国内における工業の発展と、欧州情勢の変化やベルギーの混乱に伴う交流の一時中断で、学院の規模も自然と縮小。戦車道も休止された。ところが学院の縮小を惜しんだ一部の学校関係者が、ベルギー料理とビールを中心としたレストランを展開。新しい物が好きな神戸人の間で大当たりした。とくにベルギーワッフルとチョコレートは大人気となり、作り方の問い合わせが急増。学院側は新たに調理科を設置し、同時に校名もワッフル学院に改名した。この改名は成功を収め調理―とくにベルギーワッフルの作り方を学びたいという学生が大量に押し寄せた。そこで敷地不足に陥った学院は、急遽アントウェルペンで解体予定だったアメリカの特設学園艦をオーバーホールと改装のうえ、学園艦として購入した。なお調理科は、各種菓子とベルギー料理だけではなく、フランスやドイツの料理も教えている。学院側としてはフランスやドイツで学ぶよりも洗練された料理の教育ができると謳っているが、それぞれの国からの反論も多い。

こうして調理科が人気になると料理の材料が不足し、そのたびにベルギーから運び込むのも手間がかかった。そこで製パンやビール醸造に必要な材料や、フライドポテト用のジャガイモを栽培する農業科、肉類の確保のために畜産科、ムール貝などを担当する水産科が新設された。また、芸術科も同時に設置。こうして、学院は拡大し、それに伴って生徒数も増大したため、休止していた戦車道も再開された。だが、保有していた戦車は、ルノーAMC35に独自の砲塔を搭載したタイプと、ヴィッカーST-15軽戦車がそれぞれ数輌だけ。ほかにはなぜか、戦車道に使用不可能なダイムラー装甲車が多数あり、そのままでは大会への出場も難しかった。そこで各国との度重なる交渉の結果、何とか105ミリ榴弾砲装備のM4中戦車を複数入手。大会に参加可能な台数を揃えた。このとき、M24チャーフィーの車体だけを入手したが、載せる砲塔がないため訓練用に使用している。ただ学院側としては、優秀な車輌であり一挙に戦力が向上するので、何とかして砲塔を入手しようとしているが難航している模様。現在は無理やり余剰となっているダイムラー装甲車の砲塔を載せているが、当然のことながら戦車道連盟の車検は通っていない。

気質としては、比較的勤勉で保守的な生徒が多いが例外もある。ただ、共通して生徒たちは美食家であり、食事に関してはアンツィオ高校と、積極的な交流を行っている。

ルノー AMC35

1935年に制式化された、フランスの戦車。短砲身47ミリ砲を搭載したAMC34の後継モデルで、長砲身の47ミリ戦車砲を採用。開発時は「ACG1」と呼ばれた。第二次世界大戦前に、このAMC35をベルギー軍が若干数を購入。自国の仕様に合わせて、主砲をベルギー製の47ミリ対戦車砲に換装した。これらAMC35は、1940年5月にドイツ軍と対戦。その多くが撃破された。

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

不肖・秋山優花里の 第4回 戦車講座



試行錯誤を繰り返した重機動兵器

美しき多砲塔戦車の世界

初期の戦車開発では主流だった多砲塔戦車を、私こと秋山優花里がピックアップ。その個性的で味わいのある姿を、解説してみたいと思います！

多砲塔戦車こそ戦車の原型⁉

皆さん、暑い夏をいかがお過ごしですか？　日差しの強い日には、戦車も日陰でゆっくり涼んでいただきたいと思う秋山優花里です。さて今回取り上げるのは、私の大好きな戦車、ポーランドの「7TP」を始めとする「多砲塔戦車」であります！　1つの車体に複数の砲塔が載った「多砲塔戦車」は、現代から見ると変わった戦車に映ってしまいますが、戦車が生まれたばかりの頃はこちらが本筋だったという見方もあるのです。

例えば世界最初の戦車、イギリスの「Mk．Ⅰ（雄型）」は車体の両側の張り出しに6ポンド砲（57ミリ）と機関銃を搭載していましたので、固定砲塔が2つあった、という見方もできるのです。これは構造上、ここにしか置けなかったという事もありますが、戦車が作られた当初の目的が塹壕突破だったので、塹壕に籠もる相手への攻撃には武器を横に置いた方が有利とも考えられたのです。

その後、武装は増えていき、イギリスの中戦車「ホイペット」は車体上構の前後左右に機関銃を搭載。ドイツ最初の戦車「A7V」も正面に57ミリ砲、左右後部には機関銃を搭載していました。それに戦車カフェの呼鈴にもデザインされていたイタリア最初の戦車「フィアット2000」も、中央の65ミリ砲塔のほかに車体には7つもの可動銃座が付いていました。黎明期の戦車は車体のアチコチに、武器を持つのが普通だったわけです。

多砲塔戦車の登場

しかし、第一次世界大戦中の1917年、フランスで現代戦車の基本レイアウトを確立した戦車が登場します。1つの車体に1つの砲塔を持った軽戦車「ルノーFT-17」であります！　「FT-17」は軽快な運動性と優れた戦闘力で大活躍しましたが、基本的には重戦車がこじ開けた突破口から後方に突入し戦果を拡大することが任務でした。ですので、やはり突破用戦車が必要と考えたフランスが1918年に新たな重戦車を開発します。それが世界初の多砲塔戦車「シャールC2」であります！

この「C2」は重量なんと70トン！　全長10メートルにもなる巨大戦車で、乗員は最大13名。75ミリ砲を搭載した主砲塔の後ろに、もう1つ8ミリ機関銃を搭載した小型砲塔を持っていました。主砲で戦線を突破後、塹壕から出てきた相手は後部の小型砲塔で対応しようというわけです。後ろ向きの機関銃砲塔は、アヒルさんチームの「八九式中戦車」を始め、日本戦車の砲塔が主砲の裏側に機関銃を搭載していたのを思い起こさせますね。

さて、当時としては破格の巨大戦



フィアット 2000

フランス初の戦車、シュナイダーCA1を参考に開発された、イタリア初の戦車。1917～1918年までに、自動車メーカー・フィアットで2輌の試作車が製造された。ただし重量は約40トン、移動速度も時速4～6キロと低速のため、敵の動きについていくことができなかった。実際に配備されたリビアでは、わずか2ヶ月で撤収された

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）



7TP

1930年代に生産が開始された、ポーランドの双砲塔戦車。7TPとは「7トンポーランド製」の略称だが、改良により重量は約9トンに増加している。1939年、ドイツによるポーランド侵攻では単砲塔型が活躍。双砲塔型は火力不足のため、おもに訓練用として使用された。だが、ドイツ軍が首都ワルシャワに迫った際には、双砲塔型も投入され果敢に戦った

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）



インデペンデント

単独で敵陣に突破口を開く機動兵器として、ヴィッカース・アームストロング社により開発された戦車。これまでのMk.Ⅰ戦車などが抱えていた、射界の死角や非効率な武装配置を改めた設計は、各国の多砲塔戦車の開発に大きな影響を与えた。また重量が約32トンにも関わらず、路上での最高時速は約32キロを記録。当時としては、優れた機動力を発揮した

写真提供　グランドパワー（ガリレオ出版）

車「C2」は、その大きさゆえ時速12キロと鈍足で使いにくく、しかも生産準備中に戦争が終了したので、たった10輌が作られただけでした。このうち6輌は第二次世界大戦まで生き残っていましたが、戦場に鉄道で運ばれる途中、空襲で破壊されてしまったそうです。かわいそうな星の下に生まれた戦車です。

目指せ！　陸上戦艦!!

第一次世界大戦が終わると、世界中で次世代の戦車を目指した試行錯誤が始まります。前回紹介した「豆戦車」もその一例。なかでも注目を浴びたのが、戦車の母国イギリスのアイデア〝陸上艦隊〟構想です。大型重戦車を中心に多数の豆戦車を配置した〝戦車艦隊〟を編成しよう！　という海洋国家イギリスらしいアイデアです。

その中心となるのが、1925年に登場した多砲塔戦車「インデペンデント」であります！　乗員8名、重さ約32トン。全長8メートル近い大型の車体を持ったこの戦車は、なんと5つの砲塔を持つまさに〝陸上戦艦〟！　中央の主砲塔に3ポンド砲（47ミリ砲）、前後左右の四隅に機関銃を持った小型砲塔を搭載。なかでも左後方の砲塔は、対空射撃まで可能でした！　おまけに乗員間の連絡用に、咽頭マイクを採用する先進設計！　主砲塔に陣取った車長の指示で、小型砲塔が一斉に動くわけです。まさに陸の軍艦！　ぜひ一度乗ってみたいものです。

しかし実際には、海と違って陸は起伏が激しいうえ、豆戦車との速度差がありすぎたので〝陸上艦隊〟が隊列を組んで整然と進むのはとても困難でした。親善試合の時、聖グロリアーナのV字陣形を見て、西住殿が練度の高さに感心していたことが思い出されますね。それに砲塔を5つも持つ複雑な構造のため生産コストが高く、「インデペンデント」は、たった1輌の生産で終わってしまいました。豆戦車「カーデンロイド」と一緒に進む「インデペンデント」の陸上艦隊、ぜひとも見たかったのに……残念です。

ただイギリスでは「インデペンデント」の失敗にめげず、これを小型化した多砲塔中戦車「Mk.Ⅲ」を1930年に開発します。重さ約17.5トン。機関銃を搭載した小型砲塔は前部左右の2つに減らしました。とはいえ、これでも複雑すぎてコストが跳ね上がり、わずか3輌の生産で終わってしまいます。「Mk.Ⅲ」はその後、無線機を搭載し、第2回の時にご紹介したイギリスの戦車男ホバート殿の指揮戦車として余生を送ったそうです。

可憐な双子砲塔！

しかし、これで諦めるイギリスではありません。戦車の名門ヴィッカース・アームストロング社は1932年、独自に小型の多砲塔戦車を開発します！　それが「ヴィッカース6トン戦車Mk.E」であります。

名前の通り、重さ6トン級（実際には7トン）の戦車は、民間企業らしく顧客の要望に合わせてさまざまな砲塔を準備。単一砲塔から機関銃を持ったツイン砲塔バージョン、片方の砲塔を37ミリ砲にしたタイプなどバリエーションが豊富。この双砲塔タイプが「Mk.E」と呼ばれています。イギリスでは少数の採用に留まりますが、日本・ソビエト・ギリシャなどが、このツイン砲塔バージョンを購入。なかでもポーランドでは製造権も購入して独自生産を行います。これが私の大好きな双砲塔戦車「7TP」であります！

ホチキス7.92ミリ機関銃（後にブローニングに換装）を持った小型砲塔が双子よろしく並んでいるのがかわい

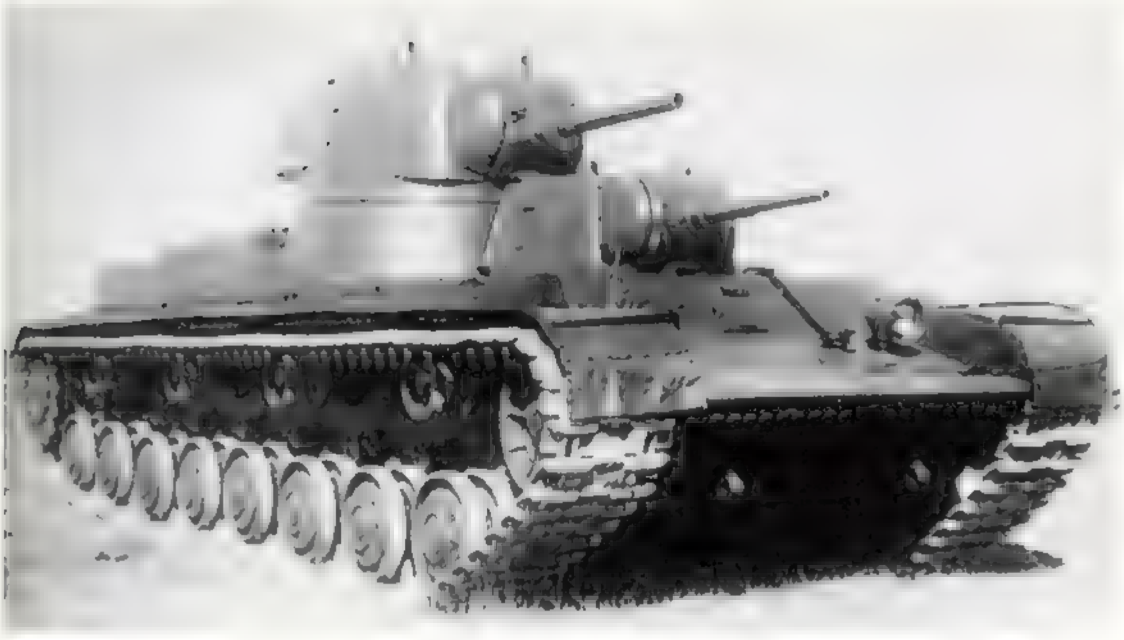
戦車の過渡期を象徴するM3中戦車

正確には多砲塔戦車ではないが、M3中戦車は37ミリと75ミリの戦車砲を備えた戦車である。ただしM3中戦車は、これまでの多砲塔戦車とは異なる設計思想で開発された。なぜなら、ドイツの電撃戦を分析したアメリカ陸軍は、今後の戦車には75ミリ砲の搭載が不可欠と判断。大型の回転砲塔が開発されるまでのつなぎとして、M3中戦車が誕生したからだ。実際にM3中戦車は、車体右側に75ミリ軽榴弾砲を備えた試作戦車、T5E2をベースに1940年9月からわずか6ヶ月で試作車が完成。M4中戦車が登場するまでの間、ドイツの優秀な戦車に対抗し続けた。ある意味M3中戦車は、基本設計の移り変わりを代表する車輌と言えるだろう。



二種類の砲を搭載したM3中戦車は、運用に6人もの搭乗員が必要とされ、整備にも手間がかかった。だが1941年4月の生産開始から、派生型も含め約6,200輌が生産された





SMK

主砲塔の76.2ミリ砲と副砲塔に45ミリ砲を備えた、ソビエトの戦車。当時、国産化に成功したトーションバー式サスペンションの導入により、総重量の軽減に成功。当局が要求した、最大装甲厚60ミリ以上を実現させた。だが投入された1939年の冬戦争では、あまり活躍することなく擱座した

写真提供：グランドパワー（ガリレオ出版）

いですよね！

この「7TP」の最大の特徴は、エンジンをスイス・ザウラー社のディーゼル・エンジンに換装したことにあります。ガソリンエンジンが主流のこの時代、日本の「八九式中戦車」同様、燃費が良く火災が起きにくいディーゼルに注目したポーランドの技術陣は慧眼だったといえるでしょう。ただ、機関銃だけでは火力不足と指摘され、双砲塔戦車の生産は1937年にわずか20数輌で終わり、ボフォース37ミリ砲を搭載した単一砲塔タイプに生産が移ってしまいます。ものすごく残念であります。あぁ、「7TP」の大軍団によるパレードをぜひとも見たかったです。

一方、アメリカでもM2戦闘車シリーズの中で「Mk.E」同様に双砲塔を持った戦車が作られます。M2A2と装甲強化版のA3であります。この戦闘車（コンバットカー）というのは、戦車が歩兵用装備だったので騎兵部隊は戦車が持てず、名前だけ変えていたのです。戦車の黎明期には、どこの国でもこの手の派閥争いが絶えなかったそうです。

世界に広がる多砲塔戦車

さて、戦車先進国イギリスで生み出された多砲塔戦車のなかで、双砲塔戦車「Mk.E」以上に世界の戦車関係者にインパクトを与えたのが、先に紹介した〝陸上戦艦〟「インデペンデント」であります。

ドイツでは1932年から多砲塔戦車の開発が始まり、4年後に中戦車「NbFz」が完成します。〝ヴァイキング水産高校〟が持っていることでお馴染みですよね。3つの砲塔を持った「NbFz」は重さ約23トン。主砲塔には75ミリ砲と37ミリ砲を連装で搭載。その前後に機関銃を搭載した小型砲塔を持っていました。グデーリアン殿の〝電撃戦〟構想のもと、順調に戦車開発を行っていたと思われがちなドイツでも、こんな試行錯誤があったんですね。

また日本では1927年に完成した初の国産戦車、「試作1号戦車」が3つの砲塔を持っていました！ 日本の戦車の始まりが多砲塔戦車だったとはうれしい限りです。この「一号」戦車は、中央の砲塔に57ミリ砲、車体の前後の小型砲塔に機関銃を搭載。聖地、富士演習場で行われた初の野外走行試験は順調に進み、エンストを本気で心配していた見学者から歓声があがったそうです。

これに自信を持った日本は「八九式戦車」の開発に乗り出します！

1932年には本格的な多砲塔戦車として「九五式重戦車」も開発されますが、重さ約26トン、時速22キロと遅かったので、機動力重視の日本では本格採用されませんでした。これはまたの機会にお話させていただきますね。

多砲塔戦車の桃源郷

このように注目される割には制式採用されなかった多砲塔戦車でしたが、全力で取り組んだ国があります！ 世界最大の戦車大国ソビエトであります！ ソビエトではイギリスの「インデペンデント」に注目し購入を打診。空挺から豆戦車までソビエトの戦車研究意欲の高さにはいつも驚かされますが、この話はイギリスから拒絶されてしまったそうです。しかし「ヴィッカース6トン戦車」が輸出され、「T-28」として大量生産されました。このなかで「Mk.E」同様、ツイン砲塔を搭載したバージョンも300輌程度が生産されています。

しかしソビエトでは〝陸上戦艦〟の夢をあきらめず、1932年、多砲塔戦車「T-35」を完成させます！

5つの砲塔を持った重量50トンの重戦車は乗員10名、時速30キロ。中央の主砲塔には76・2ミリ砲を搭載し、それを取り囲む4つの砲塔のうち、前部右と後部左には45ミリ砲と機関銃、反対側の砲塔は機関銃のみを搭載していました。合計火力は「インデペンデント」以上です！

約60輌が生産された「T-35」は、強烈な外見からパレードでは主役を務めます。続いて重量を約27トンに軽量化した「T-28」を約500輌も量産！ こちらも5つの砲塔を持っていましたが、主砲塔の76・2ミリ砲以外は機関銃だけでした。ただ、これらの戦車は5つの砲塔に重量を取られたため装甲が薄いのが弱点。そこで砲塔を3つに減らし防御力を強化した多砲塔戦車が2タイプ試作されます。ところが、実物大モックアップ（模型）を見たソビエトの指導者スターリンは『なぜ戦車をデパートにするんだ？』と聞いたとか。関係者の頭にシベリアの雪原が拡がったことでしょう。あわてた両設計チームは砲塔を2つに減らします。これが戦艦のように背負い式に搭載した試作車「T-100」と「SMK」です。

このとき、「SMK」の主任技師Zh・Ya・コーチン殿は、念のため単一砲塔版も設計しておきます。シベリア送りがよほど怖かったんでしょうね。しかしこれが思わぬ結果を生み出します。そう、この単一砲塔版こそが、1941年に『撃たれても撃破されない戦車』としてドイツ軍をあわてさせたソビエトの重戦車「KV-1」であります！ ここにカチューシャ殿が大好きな街道上の怪物「KV-2」、ノンナ殿が操る「IS-2」という、ソビエトの傑作重戦車シリーズの歴史が始まるのであります！

多砲塔戦車の理想と現実

多砲塔戦車はとても強そうな外見なのですが、旋回砲塔はとても複雑で重量もかさむため、全体の装甲が薄く防御力が弱い欠点を持っていました。また一人の車長では複数の砲塔の指揮がとれず、有効に使うことが最後までできませんでした。一人で拳銃を4つ5つ持っても、一挺のライフル銃を持った相手に平原では負けてしまうのです。こうして第二次世界大戦後、多砲塔戦車は歴史の流れからは消えてしまいました。私としては味のある個性的な多砲塔戦車が大好きですので、とても残念であります。しかし現在、技術の発達により多砲塔戦車の復活の気配が出てきています。無人の小型砲塔RWS（リモート・ウェポン・システム）の登場です！

カメラ等の発達により、機関銃や擲弾を搭載した砲塔を車内からモニターを見ながら自由に操作可能。無人ですので軽くて小さく、全体の重量を損ないません！ おもに装甲車の装備として開発されていますが、欧州では戦車の砲塔の上に搭載することも計画されています！ ひょっとしたら将来、多砲塔戦車が復活するかもしれないと密かに期待しています。

というわけでいかがだったでしょうか？ いくつもの砲塔が搭載された多砲塔戦車の歴史と魅力、ご理解いただけましたでしょうか？

それではまた、次回の戦車講座でお会いしましょう！



多砲塔の夢
えと文/モリナガ・ヨウ
ボービントン戦車博物館に現存しているインディペンデント重戦車。蒸気機関車みたいで、カメラに収めようにもなかなかフレームに入りきらない。
多砲塔戦車こそ戦車の原型であります！
←ヴィルヘルム2世が妄想した陸上戦艦（1897）
「陸上戦艦」は近代戦車が誕生するずっと前から夢見られていた。陸上を進む無敵の要塞……。
←1輌だけ作られたイギリスのインディペンデント重戦車。四方の敵をけちらし進む多砲塔戦車という夢を世界に広めた。
T28
←主砲塔
←銃塔×2
天井に星型プレス。パレードのスター戦車。
死角なし
全長約10メートル。怪物の名にふさわしい。
T35
2階家ぐらいの高さがある。
ソ連はこの多砲塔戦車を量産した。ソヴィエト連邦の科学力を見よ！
このT35は10人乗り。（+車外員）主砲塔に副砲塔2つ、銃塔2つという陣立て。本当に戦艦みたいではないか。
……とはいえ、でっかくして砲塔をたくさん乗せると重くて動けない。T35は実際のところ運用しようにもどんどん勝手に壊れてしまうモノだった。パレードでは役に立ったけど。
ドイツ軍のノイバウフォールツォイグも強そうな見ためと異なり、その装甲は軽戦車ぐらいの厚さしかなかった。
私としては個性的な多砲塔戦車が大好きでありますッ
……山車？

聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

鈴木貴昭

第4回



創意工夫が勝利の鍵

「でもP40って、秘密兵器としては、そんなにすごい戦車でしょうか。やたらとリベットもぼこぼこしてますし、新しいのか古いのか」

得意げなダージリンの発言を受けて、オレンジペコが首を傾げつつ意見を言う。

すると、意味ありげに笑うダージリン。

「大洗のⅣ号戦車よりはまし、というところかしら？」

「ええ、確かにスペック的にはⅣ号以上シャーマン以下というところでしょうか。あの前面傾斜装甲はマチルダの2ポンド砲で抜くのは、ちょっと難しいかもしれません」

オレンジペコの疑問を受けて、再びダージリンが得意げな顔をする。

「戦車道ではね、優秀な指揮官と乗員、そしてまともに戦車戦ができる車輌が1輌あれば、戦術の幅は何倍にも広がるのよ」

「優秀な指揮官、ですか？」

「そうよ。大洗もそうだけど、アンツィオ高校も初戦敗退が続いていたけれども、ミ



まるオレンジペコ。
「どうしてアンツィオ高校は勝てたのでしょうか?」
「ふふ、それはね、連携と勢いが、例年と桁違いだったのよ。しかも、M13／40中戦車を使わないで、豆戦車を大幅に増やしたの」
「今のように?」
大型ディスプレイを指差すオレンジペコ、そこには6輌のCV33が映っている。
「そう、それ以外はすべてセモヴェンテ。隊長のアンチョビと副隊長のカルパッチョが、それぞれ2輌ずつ、残りのCV33をもう1人の副隊長のペパロニが率いたのよ」
その戦力を聞いて、オレンジペコは感心するよりもあきれる思いが先に立つ。それが声ににじみ出て、渋い調子で答える。
「ずいぶんと思い切りましたね」
オレンジペコの声を聞いて、我が意を得たりと、笑みを大きくするダージリン。
「まともな戦車が1輌もないものね。でも、結果としてこれが勝利のカギになったのよ。おそらく、セモヴェンテが足りなかったら勝てなかったんじゃないかしら」
「と言うのは?」
「アンツィオ側のフラッグ車、隊長車だったんだけど、それがマジノのフラッグに肉薄して撃破したのよ。でもね、接近する間に、次々と撹乱から立ち直ったマジノ側の車輌が側面から接近して来たの」
「セモヴェンテは自走砲ですから、側面から来られると手も足も出ません」
「そう。だから、ほかのセモヴェンテが盾になりつつ、隊長車を行かせたの。なかなか際どい勝負だったようね。もし、あれが前にしか撃てない自走砲じゃなく、普通の戦車なら、食い止めるのもフラッグを撃破

年かけて、あの戦力でマジノに勝てるまでになったのだから」
「報告を見ていないのですが、アンツィオ対マジノ戦はどんな試合だったのですか?」
「マジノはいつも通りの重戦車と軽戦車を組み合わせた防御重視陣形、そこにアンツィオが豆戦車で奇襲をかけて撹乱させて、その際にフラッグ車に肉薄して撃破、ね」
ダージリンの説明した戦いは、両チームともに、特に新しいところはない。むしろ、その戦力差でアンツィオ高校が勝利したというのは、何か幸運があったのか、それともマジノ女学院側に失策でもあったのかと疑問に思うオレンジペコ。
「マジノもアンツィオも、例年通りの戦いのようですが?」
「マジノはともかく、アンツィオのラインナップでは、多少のバリエーションはあっても、できることは限られますわね」
なのに勝利したとは、ますます疑問が深

聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道 第4回

聖グロリアーナ女学院 戦いの軌跡

するのも、もう少し楽だったのでは、というのがアッサムの分析ね」
オレンジペコの顔に、納得した色が浮かぶ。
「それでP40がアンツィオの欲しがった秘密兵器、だと」
「そういうこと」
「……なるほど、では私たちに必要な車輌は？」
それを聞いて不敵に笑うダージリン。
「脚が速く、守りが固く、砲が強い車輌よ」
ダージリンたちが戦力分析をしている間にも試合は開始され、両チームの車輌が前進を始める。特に、アンツィオ高校の豆戦車CV33は、最高速度はそれほどでも無いが、その軽快さからくる機動性を十分に発揮。あっという間にフラッグ車のP40を後にする。
「後ろに積んでいるのは何でしょう？」
オレンジペコが指差す先を見るダージリン。先行するCV33の後部には、薪束のような物が積み上げられている。
戦車道で鍛えているにも関わらず細く白い指を、頤に軽く当てて考えるダージリン。
「あれが今回の秘策といったところかしら」
「秘策？」
「ええ、北アフリカで散々使われた作戦ね」
「はぁ」
納得のいかない様子のオレンジペコに、いたずらな笑みを浮かべるダージリン。
「ふふ、見ていれば、分かるわ」
その間にも先行するCV33。それに対して、大洗女子側の動きはやや鈍い。八九式中戦車を偵察として先行させているが、残りの車輌は、列となって峠へと向かっていく。
「このままでは、先にアンツィオが峠に入ります」
有利な地形を取られるのに焦ったオレンジペコの声が、やや大きくなる。それに冷静に答えるダージリン。
「本隊は停まったようね」
「え？」
あわててディスプレイを見ると、峠の手前で制止したP40が映っている。
「あの位置では、峠に上がってきた車輌を撃つのは無理です」
「そうね」
「この布陣で機動戦を仕掛けて、撹乱することは難しいのでは？」
「先ほどの秘策の布石かしら」
「はあ……」
やはり納得のいかない様子のオレンジペコ。アンツィオの戦術が読めないためか、今までとは全然違う疑問が口からこぼれる。
「でも、フラッグ車をアンツィオ最強のP40にするのは、どうなんでしょう？」
「私たちのフラッグ車もチャーチルよ？」
「そうなのですが、あれだけ機動力に差があるのですから、豆戦車をフラッグにして逃げまわれば、台数の少ない大洗では見つけられないのでは」
「戦車の編成だけを見ればその通りですわね」
楽しそうに返すダージリン。
「どういうことですか？」
「アンツィオの大部分は一年生よ。二年生はたった二人、そして三年生はアンチョビ隊長ただ一人」
「はい……？」
「戦車を動かすのは人。各々に見合った役割が人にあるように、戦車にもそれぞれ役割があるわ。そこを少し考えてみましょうか」
「分かりました」
次代の幹部を育成するために、ダージリンはこうやってこまめにオレンジペコに実地で教育を行う。これと見込んだ後輩に自分の知識を引き継ぐ。これが聖グロリアーナの伝統であり、歴史であった。
今ここにいないアッサムも、戦車道関連だけではなく、グリーンから諜報の技術を習い続けている。諜報は戦車道においてだけではなく、学園艦運営において重要な要素である。いかにして迅速に多くの情報を入手し、それを分析して、玉石混交のなかから真実を見つけ出すかが要求される。
しかも、必要な時に必要な情報が無ければ意味が無いので、分析の素早さも必要であった。
本人はさほどそうは思っていないが、ダージリンが先代のノーブルシスターズたちから見込まれた理由は、その判断と決断の速さであり、また選択した結果が的確かつ優れているからであった。
この選択による直感とは、過去に起きた多くの事象から似たような事例を瞬時に探し出し、現在の問題解決に当てはめるためのスキルである。さらに多くの知識と経験から導き出される最適な対処を、短時間で組み上げる能力でもある。
戦車道の指揮官に必要な能力は、周到な準備と即断即決、そして臨機応変。
ダージリンは、先代のノーブルシスターズから、それを兼ね備えていると認められていたのだった。
「フラッグ車は、必ずしも隊長車である必要はないわ。大洗は今回も前回も、38(t)がフラッグ車になっているし」
「はい。それなりに機動力があって、申し訳程度ですが、多少の防御力と攻撃力がある車輌です」
「ええ、それ以上にあの車輌は、操縦のキレがとてもいいわ。現時点の大洗では一、二を争う機動力ね」



「なら、アンツィオも同じように……あっ！」
　疑問を口にした途中で、ダージリンが何を言いたいのか気が付くオレンジペコ。
　それを見て、ほほ笑みを大きくするダージリン。
「そう、誰が乗るのかしら？」
　指を折りながら、ダージリンから与えられた情報を元に、回答を口にするオレンジペコ。
「隊長が乗ったら豆戦車では指揮が取れない。そして、二人の副隊長も、豆戦車と自走砲を率いるのに必要……乗る人がいません」





「その通り。フラッグ車には、優れた操縦技術、戦況を大局的に見ることのできる目、そのうえで信頼できる乗員が乗る必要があるの。でも経験の浅い一年生にそれを任せるのは、少し酷な話かしら？」
　ダージリンの口調には、『ノリと勢い』を重視するアンツィオ高校の校風を熟知している感があった。実際、アンツィオ高校における戦車道選手の多くは、ノリと勢いだけで行動すると考えられており、それは自他ともに認める事実でもあった。
「……はい」
「そうなるとアンツィオは、あの布陣がベストな選択となるの。私たちの場合は少し違うけど。分かるかしら？」
　ダージリンの問いに即答するオレンジペコ。
「はい、うちには、機動力の高い車輌がありません」
　その回答に、満足げな笑みを浮かべるダージリン。
「Mk・VI軽戦車はあるけど、輌数制限があるなかで、私たちがあれを使うメリットは、ほとんどないわね」
「私たちの浸透強襲戦術では、撃破され難い車輌をフラッグ車に選ぶことが必要……」
「ええ、必然的にもっとも装甲が強固で、隊長車でもあるチャーチルがフラッグ車になるの」
「納得しました」
「いいこと、覚えておいてね。戦車道は、単に車輌だけではなく、乗っている乗員のことを考えて、そのうえで作戦を立てるの。何が来るか分からない戦争ではないのだから、メンバーや戦車の編成から相手の意図を読む。それが戦車道においてはとても重要よ」
「はい！」
「よろしい。さて、戦況はどうなったのかしら？」
　レクチャーを終えたダージリンがディスプレイに目をやる。そこには、峠の先に向かうCV33が映っていた。
「十字路を押さえるつもりですね」
「そうね、峠の十字路、あそこを押さえれば、大洗の動きは完全にアンツィオに制御されることになる」
「はい、地形はアンツィオに有利、そこを強行突破しようとすると、弱い装甲上面を75ミリ砲に狙われるわけですね」
「そうね、まるで私たちとの親善試合みたいじゃない？」
「でも、あそこにいるのは豆戦車ばかりで、いくら大洗の車輌でも、機銃では撃破されませんよね」
　笑って答えないダージリン。
「停車して、待ち伏せ……じゃないですね、何をするつもりでしょうか？」
　食い入るようにディスプレイを見つめるオレンジペコ、そこには次々と降車するアンツィオの生徒たちが映し出されている。そのまま、CV33の後部に積んだ物をかついで降ろしていく。
「あれは！」
「やっぱりダミーだったわね。楽しくなって来たわ。次は私たちも使ってみようかしら」
「バートラム作戦、ですか」
　バートラム作戦とは、イギリスがエル・アラメイン攻勢の準備として行った、極めて大規模なカモフラージュ作戦である。偽燃料集積所や偽装戦車や砲、あげくの果てには偽パイプラインまで作り、作戦開始の時期と方向をドイツ側に誤認させ、最終的に北アフリカでの勝利を得たのだった。
　その後も、イギリスは繰り返しカモフラージュ作戦を実施し、戦いを有利に導くために全力をつくしていく。それこそがイギリス流であった。
「何せ、イギリスは欺瞞や偽装のために奇術師を雇っていたぐらいだもの」
「ジャスパー・マスケリン、ですね」
「彼が配属されたカモフラージュ部隊には、奇術師だけじゃなく、建築屋や大工、そして舞台技師や画家までいたって言うじゃない。今回のアンツィオの作戦は、それを思



い起こさせるわ」

それを聞いて、小声で呟くオレンジペコ。

「イギリス人の性格の悪さは、筋金入りです」

お茶を飲んでいたために、聞き逃したダージリンが聞き返す。

「どうかした？」

「いいえ、別に」

あわててごまかすオレンジペコ。

「私たちも、次はマチルダにダミーを被せて、チャーチルに見せる、とかどうかしら？」

「それ、役に立つんですか？」

「使い方次第？」

こくんと首を傾げるダージリン。

戦車ダミーは、特にレギュレーション上違反にはならない。

前述の通り、イギリスとドイツが北アフリカの砂漠で積極的に使用。その後もイギリスでは大規模な欺瞞作戦は得意分野であったため、規制しようとするとイギリス関係の学校から猛反対が出るので、規制できないというのが実情であった。

それだけではなく、最近は試合時間が短縮されつつある高校戦車道では、欺瞞作戦を行う余裕は少なくなっているので、規制の必要があまり無いという理由もある。

と言うのは、最初からほかの車輌に化けていては、試合開始前に見破られるので、開始後に偽装を取り付ける必要がある。

試合場のなかで悠長にそんなことをしていては、速攻で撃破される可能性があった。

結局、手間の割に効果が少ないとしてあまり行う学校はない。せいぜい、サンダース大学付属戦で大洗女子側がやったような、木の枝を引っ張って進路や車輌数を偽装するなど、簡単で事前準備が不要な作戦程度であった。

そもそも戦車の迷彩自体が、相手から見つけにくくするために行われる欺瞞の一環である。規制をすれば迷彩自体が禁止になりかねない。

ショウとしての一面も大きいアメリカのプロ戦車道では、迷彩ではなく派手なカラーリングとスポンサーのロゴを張り付けた車輌が、見通しの良いフィールドのなかでぶつかりあうこともある。しかし戦車道のなかでは例外であり、そう考えると、大洗女子の初期カラーリングは実に個性的であった。

さらに余談だが、軍事行動において相手をだます行動は欺瞞ではなく、欺騙と言う。しかし一般の用語ではないとして、高校戦車道では欺瞞と言われることが普通であった。

ダージリンとオレンジペコが、カモフラージュに関して会話と紅茶を楽しんでいる間にも、アンツィオ高校側によるダミー用デコイの設置は進んでいた。気が付くと主戦場になると考えられている峠の、両側がデコイで覆われていた。

横から見る限りはただの板だが、大洗女子側の峠に向かう道からだと、しっかりとCV33とセモヴェンテに見えるようになっている。

興味深げに見守るダージリン。看板のクオリティに感嘆するオレンジペコ。

「あのダミー看板、すごいですね」

「カメラの位置が悪くて、ちゃんと見えないけど、スーパーリアリズム系で、良く描けているわ。記念に一枚欲しいわね」

「どこに飾るんですか？」

「紅茶の園のなかに、対戦相手記念みたいな感じでどうかしら？」

「それはアンツィオと対戦して、勝ったらしてください」

「それは残念。でも、大洗はどうする気かしら？」

ディスプレイに映し出されている峠をじっと見つめるダージリン。

「ダージリン隊長ならどうします？」

「私？」

「はい」

「そうねえ……マチルダとチャーチルの装甲に物を言わせて強行突破？」

「割と芸のないごり押しですね」

「そうかしら？ こういった時は、奇をてらわないのが一番だと思うわよ」

「ですが、普通はもう少し考えるのでは」

「向こうの砲では、100メートルからでも、チャーチルの正面を抜くのは不可能よ。マチルダだって抜けるかどうか」

「なるほど」

「だったら、正面から突っ込んでそのまま蹂躙するのが一番。下手に策を弄して、弱点を曝すようでは、相手の思うつぼでしょう？」

「……はい」

不承不承納得するオレンジペコがディスプレイに目をやると、縦列で動いていた大洗女子の車輌が、突如として大きな動きを見せる。オレンジペコの小さな声で気が付いたダージリンも、ディスプレイの戦況に集中する。

画面のなかでは、隊列からM3中戦車が離れて先行。峠に続く道へと突入していくのが映っていた。

「大洗は、堅実に偵察を出したわ。正面から行っても勝てそうなのに」

「しかも2台も。慎重ですね」

「あの慎重さが、大洗の隊長、西住さんの特徴ね。そこが黒森峰戦術との違いなのか

……」

「それとも、隊長の性格か？」

「ええ、ますます興味があるわ。本当にもう一度対戦してみたいこと」

「そのためには、お互いが決勝まで進みませんと」

「それはハードルが高いわね」

「どちらにとって？」

オレンジペコの問いに、笑みで応えるダージリン。

大洗女子側は完全にデコイに引っ掛かったのか、暫く動きを止めている。

息を呑むダージリンとオレンジペコ。

その瞬間、急速に動き出す八九式中戦車とM３中戦車。

「動いた！」

加速して道路上に躍り出ると、機銃に続いて主砲を発射する八九式中戦車、そしてM３中戦車。

「発砲しました！」

「気が付いたのね」

機銃弾によって穴を開けられ、砲弾によって粉砕されるデコイ。

「ああ、もったいない」

見当外れの感想をこぼすダージリン。

「でも、何で気が付いたんでしょう」

「そうねえ、それは私も知りたいわ。よほど目のいい子でもいるのか」

さすがのダージリンも、二ケ所に分散されたデコイのすべてを見ていないので、全部で11枚あることには気が付いていなかった。

「ま、駿馬もつまずくということね」

「駿馬というか、むしろ畑を耕して種まきを忘れたというか」

オレンジペコが、ダージリンのお株を奪ったように格言で返す。それにびっくりするダージリン。

「そうね、ダミーで足止めしている間に、セモヴェンテが肉薄するつもりだったんでしょうけど、そのセモヴェンテも待機しているなんて」

「P40もあそこで止まらないで、前進した方が良かったと思います」

「確かにそれも一つの手ね。アンツィオは得意の機動戦を封印して、奇策を使ったみたいだけど、それが破られた今、どうする気かしら？」

「……普通に機動戦になっています」

オレンジペコが呆れたように言う。

モニタに目をやるダージリン、そこではM３中戦車、八九式中戦車が２輌のセモヴェンテに追い回され、八九式中戦車が５輌のCV33に囲まれて逃げ回っていた。それまで比較的ゆっくりと進んでいた戦況が、囮作戦が失敗してからは速度戦へと移行し、目まぐるしく戦況が変化していく。

「結局は、アンツィオはいつもの通りになっているみたいね」

「人間、そう簡単に変われるわけではないと言うことですか」

「大洗も機動力重視だけど、アンツィオには負けているから、この後どうするつもりかしら」

「両方の目が潰しあっているのでは、情報不足になりそうですね」

現状は偵察に出た車輌同士が追いかけあっていて、本来の目的である本体の位置を知らせることが、両チームともできていない。

CV33が吹き飛ばされても吹き飛ばされても復活してくるのに大喜びしつつも、双方の主力が接近しているのに注目するダージリン。

「アンツィオは主力の半分が拘束されているわ。変な遭遇戦にならなければ……って、やっぱり」

その不安は的中し、前進を続けていた双方の主力がすれ違う。

思わず息を呑むオレンジペコであった。

「知恵を使った試合は見どころが多いわね」

「はい、目まぐるしく変わる戦況は、とてもおもしろかったです」

結局、作戦が崩れてからのアンツィオ高校は立て直しに失敗し、大洗女子に押し切られる形で試合は終了した。

だが、機動戦重視の試合は、大きく観客を沸かせることになった。

「数に物を言わせてごり押しする試合は、どうしても退屈になりがちだし」

試合に注目していて、冷めてしまった紅茶を飲み干すダージリン。

「大洗も西住流のはずなのに、全然違いますね」

「そうね、あの決断力と判断力の高さ、そして視界の確保を何よりも重んじるのはとても西住流だと思うけど、そこから出てくる戦術はなかなか個性的で、私は好きだわ」

「結局、機動戦になって最後は大洗が逆に、罠に引きずり込んだ形になりましたね」

「自走砲同士の一騎打ちなんて、最近の戦車道では珍しいわ。アンツィオがもう少し良い車輌を持っていたら、今回の勝負はどうなったか分からないわね」

「装甲が貧弱でも、機動力があればある程度勝負になる、ということですか」

「だから言ったでしょう？　脚が速く、守りが固く、砲が強い車輌が欲しいって」

「そう、黒森峰に勝つには装甲の厚さだけでは厳しいわね。これで砲力があれば、ロングレンジからの撃ちあいができるんだけど……」

「マチルダの２ポンド砲は論外、チャーチルの75ミリ砲でもティーガーの正面を抜くのは難しいです」

「ええ。それにいくらチャーチルの装甲が厚くても、ティーガーⅡが相手では無理があるわね」

「速度と機動力で負けていて、装甲も砲力も圧倒的に我が校が不利。……勝ち目は少ないのでは？」

「ま、正面から行ったら、間違いなく負けるわね」

「では、どうやって？」

「今、アッサムが偵察に行っているわ。徹底的に弱点を調べ、そこをつくしかないでしょう」

「弱点……そんなものあるのでしょうか？」

ぱらぱらと手にしたレポートをめくるダージリン。

「そうね……グリーンの報告だと、いくつか手はあるみたいだけど」

「それは、一体？」

「今そこを、アッサムに調べて貰っているの。今回の試合は、とても参考になったわ。使える物はなんでも使いましょう」

「でも、勝っているのは不整地走行能力くらいです」

「車輌ではそうね。でも、言ったでしょう、戦車道は指揮官と乗員次第だって」

「はい。しかしお言葉ですが、黒森峰の練度の高さは超高校級で、指揮官も国際強化

聖グロリアーナ女学院VS黒森峰女学園への道 第4回

聖グロリアーナ女学院 戦いの軌跡



選手になっている、あの西住まほです。私たちが優っているかどうか」
「あら、私が西住まほに負けていると？」
楽しそうに、ころころと笑うダージリン。それを聞いて、あわてるオレンジペコ。
「いえ、あの、ダージリン隊長が負けているとは……」
「まぁ、人間も含めて、黒森峰が侮れない相手なのは確かね。でも、だからと言って戦う前からあきらめていては戦車道をやっている意味がありませんわ」
「はい」
「ダージリン隊長、グリーン部長から、急ぎのレポートです」
ダージリンたちの後ろ、目隠しの衝立の方から声がして、ゆっくりと振り向くダージリン。
「あら、えっと、あなたは」
そこには、背の高いすらっとした美人、美少女と言うよりは美人と言うのが相応しい聖グロリアーナの一年生が立っていた。一見、ほかの生徒と同じ制服だが、よく見ると胸の校章に描かれている花の一輪、その色がわずかに変わっている。
対外的な諜報活動を正式に認可された、聖グロリアーナ女学院情報処理学部第6課に所属している生徒の証であった。
「フレミングです、GI6の」
「ごめんなさい、まだ一年生は覚えきれていないの」
「いえ、構いません。私もまだお使いぐらいしかできませんので」
フレミングと名乗った子は、ぺこっと頭を下げると、手にしたファイルを差し出す。ダージリンが受け取ると、そのまま衝立の後ろへと下がるフレミング。
「さっきの黒森峰の弱点の報告ですか？」
興味津々といった表情で、オレンジペコが聞いてくる。
「レディたる者、そんなに焦っては下品ですわよ」
「……はい」
「よろしい」
オレンジペコをたしなめると、ファイルを開くダージリン。
「……なるほど。クロムウェルのレストアが完了したわ」
「間に合ったんですね」
「ええ、すでに乗員の選定にも入っていて、クルセーダーと共に今回は出せるわ」
それを聞いて、一瞬その形の良い眉を寄せるオレンジペコ。
「でも、先輩方が……」
不安そうなオレンジペコに、明るい笑いを返すダージリン。
「その根回しも完了したそうよ。クルセーダー会の会長が、チャーチル会を説得してくださったの」
「マチルダ会の反対は？」
「あら、我が校にマチルダの予備はもうないわ。反対のしようがないでしょう？」
聖グロリアーナは、卒業生の意見と影響力が非常に強い。特に在校中、乗っていた戦車をバックアップすると称した後援会の意見は無視できないものがあった。
独自のルートを持った後援会によって、戦車の保守部品や新車輌の調達が安価かつ迅速に行われている面もある。さらには、学園艦の維持運営にも、後援会の支援が必要とされていた。
そのなかでも、特に三大後援会と言われるのがチャーチル会、マチルダ会、クルセーダー会で、基本的に隊長車となるチャーチル会と、台数が多く、それに伴って後援会の人数も圧倒的に多いマチルダ会の影響力が強かった。
それに対して、どちらかと言うと二軍扱いされがちなクルセーダー会の影響力は弱くなりがちであった。そこで、カヴェナンターやクロムウェルなど、ほかの巡航戦車の後援会と連合し、チャーチル会の切り崩



しを行ったのだ。

特に人数は少ないが、我慢強い人間が集まったカヴェナンター会の協力は大きく、マチルダ会へ粘り強く説得を行い、ついに説得に成功したのである。

それは、保有していて稼働状態にあるマチルダをすべて使用して、そのうえで車輌が不足しているので仕方がないというのが表向きの説得材料であった。

だがそれ以上に効果を発揮したのが、もしマチルダの使用に固執して、伝統ある聖グロリアーナが、たかだか準決勝程度で車輌台数を揃えられないというのは、ほかの学校に侮られるという説明であった。

これが、保守的で面子を重んじる先輩が多いマチルダ会に対して、てき面に意見を軟化させるのに役立った。

これにより、それまでのチャーチル1輌、マチルダ9輌の編成に加え、予備のマチルダ2輌、クルセーダー2輌、そしてレストアが完了したクロムウェル1輌を用意することができた。

マチルダ会の強硬派は、長年スクラップ状態にあるマチルダのレストアを急ぐべきと主張していた。だが現在の11輌体制ですら2輌を予備に回して、常に整備して何とか稼働状態にしている状況に加え、部品もマンパワーも不足な現状で、それは現実味に乏しい意見であった。

もし、クロムウェルのレストアが間に合わなければ、「走るサウナ」として名高いカヴェナンター巡航戦車か、Mk・Ⅵ軽戦車などを投入せざるを得ない状況であった。名門校である聖グロリアーナですら、準決勝以降に万全で十分な数の車輌を揃えるのは、なかなかハードルが高かった。

「3輌の巡航戦車があれば、多少は機動戦に対応ができるでしょうか？」

「せいぜい嫌がらせ程度のかく乱くらいね。でも、クロムウェルの速度は効果的に使えれば、おもしろいこともできるかもね」

いたずらっぽく微笑むダージリン。

クロムウェルの最高速度はタイプによって異なるが、路面なら時速50キロ以上を発揮し、聖グロリアーナの車輌は61キロを記録するとレポートに書いてある。また、主砲も75ミリ砲を搭載し、装甲も最大76ミリと、まともな快速中戦車相当の能力を持っていた。

それまで人が走る速度程度の歩兵戦車ばかりだった聖グロリアーナとしては、圧倒的に速く、そのうえ性能もまともなので、戦術の幅が大きく広がったのは確かであった。

「問題は……」

「クルセーダーね」

顔を見合わせてため息をつくオレンジペコとダージリン。

「これがちゃんと動いてくれるか、そこが不安よね」

「……はい。カヴェナンターよりはマシとはいえ」

クルセーダー巡航戦車は、エンジンやトランスミッションの信頼性や冷却性能が不足しており、故障がちであった。そのうえ、本来は5人乗りだったはずが、砲塔にベンチレーターがないうえに6ポンド砲を積んだところ、スペースが狭くなって3人乗りになっている。そのため車長が装填手を兼ねて、砲手が無線手を兼ねるという忙しい



車輌になってしまった。

装甲が薄いのは速度重視なので仕方ないが、それでも速度を上げるためにガバナー（調速機）を解除すれば、エンジンが故障しやすくなる。使いどころに悩む車輌であるのは確かであった。

もっとも、オレンジペコに「それ」よりましと言われたカヴェナンターは、車高を低くするために努力した結果、ラジエーター用の配管が車内を通っているという謎の構造になり、車内温度が40度を超える「走るサウナ」となってしまっている。

聖グロリアーナの生徒で、この車輌を使い続けることができれば、それだけで忍耐力が鍛えられると言われるほどであった。

近年の聖グロリアーナの生徒のなかでは、トップクラスで忍耐強いと言われるオレンジペコですら、カヴェナンターの熱には耐えられずに、逃げ出したほどであるから、そのひどさがよく分かる。

「足元に水たまりができる戦車は、確かに勘弁して欲しいわね」

「はい、センチュリオンとは言わないですが、コメットかファイアフライ、そうでなければクロムウェルがもう何輌か欲しいところです」

未練深げに呟くオレンジペコ。

「だから、無い物ねだりはしないの。私たちも大洗を見習いましょう」

クロムウェル使用の根回しをするのと同時に、今年は無理でも来年に向けて、クロムウェルに17ポンド砲を積んで、チャレンジャー相当へ改造する検討も、密かにダージリンは進めさせている。

それは当然間に合わない。

だが、クロムウェルが使えるようになっただけでも収穫であり、現有戦力で最大の戦果を発揮するように考える。それが最近の、特に大洗女子との親善試合を経てからのダージリンの思考であった。

「手のなかの一羽の鳥は、藪のなかの二羽に勝るのよ」

「はい？」

突然のダージリンの格言に、思わず聞き返すオレンジペコ。

「ふふ、そろそろ撤収して、黒森峰対継続の試合を見に行きましょう」

「はい！」

撤収するダージリンたち。

その後ろでは、アンツィオ高校の生徒たちが大量のケータリング車輌を大洗女子側陣地へと持ち込み、大宴会が始まろうとしていた。

『どうかしら？』

藪のなかから偵察中のアッサムの耳に、ダージリンからの連絡が飛び込んでくる。

「ちょうど今、試合が終わったところです、もう間に合いません」

『そう、残念』

「それでも、確かに黒森峰の弱点、発見しました」

アッサムの双眼鏡のなかに、ティーガーIに乗った西住まほの姿が見える。

『それは良くやったわ。やはりレポートの通り？』

「はい、非常に小さな穴ですが、間違いなく弱点です」

『では、気を付けて撤収して来てね。レポートを楽しみに待っているわ』

「はい！」

ゆっくりと双眼鏡を降ろすアッサム、そこには黒森峰に完膚なきまでに撃破された継続高校の車輌が点々と転がり、それを睥睨するように、まだその88ミリ砲から薄い煙を上げているティーガーIが、丘の上に停車していた。





語る KATARU

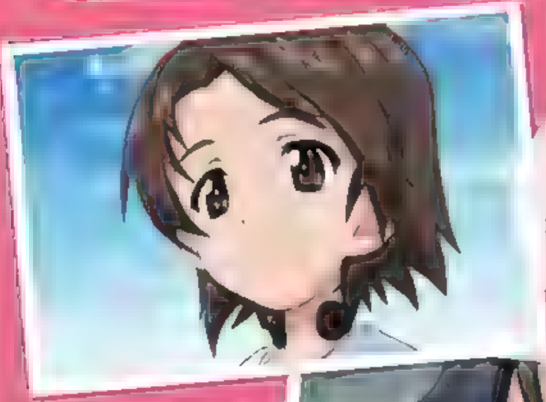
第4回 ウサギさんチーム



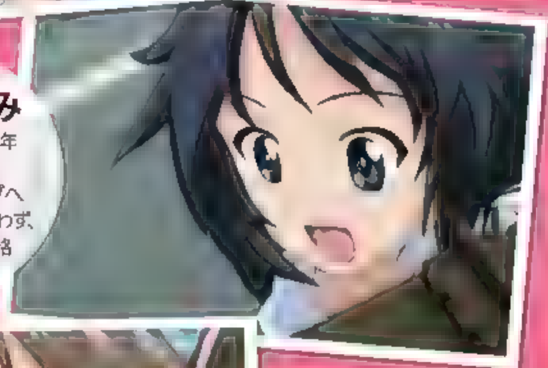
I ♥ PANZER 大洗女子チームメンバー

戦車(SENSYA)愛(AIWO)を

主砲は旋回しなくても知恵と勇気で全国大会を盛り上げたM3中戦車。そんなM3中戦車と一緒に戦い抜いた、ウサギさんチームに、同車輌への愛着をお聞きしました。



澤 梓
大洗女子学園 1年
〈普通科〉
車長。ウサギさんチームのリーダー格で、面倒見がいい



山郷あゆみ
大洗女子学園 1年
〈普通科〉
主砲砲手。ロングヘアーの外見に似合わず、さっぱりした性格



丸山紗希
大洗女子学園 1年
〈普通科〉
装填手。無口でおとなしく、ひとりで物思いにふけることが多い



阪口桂利奈
大洗女子学園 1年
〈普通科〉
操縦手。アニメ好きな行動系で、やればできる子と言われている



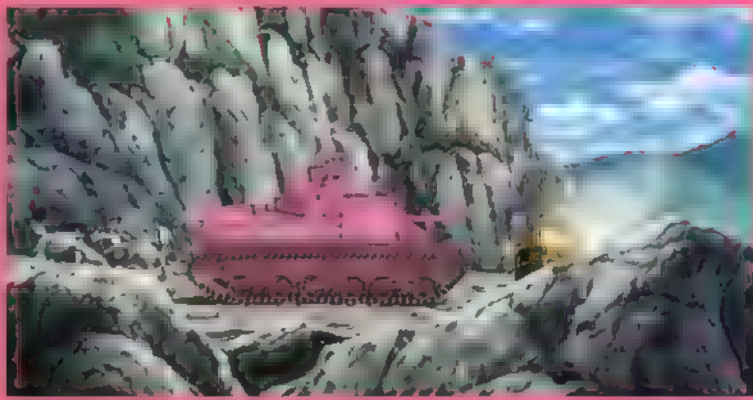
宇津木優季
大洗女子学園 1年
〈普通科〉
通信手。マイペースだが、結果が出るまで辛抱強くトライするタイプ



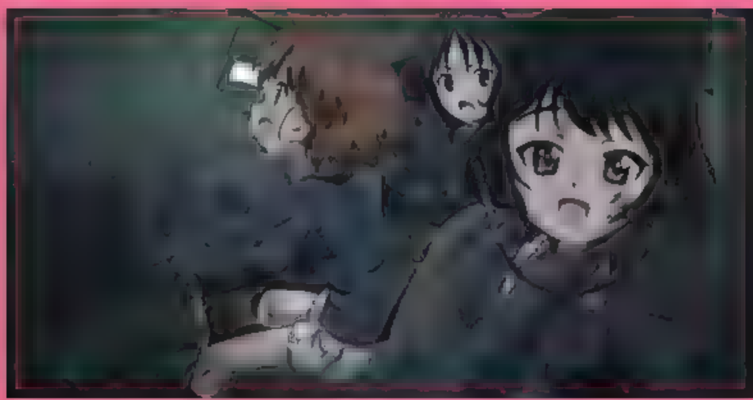
大野あや
大洗女子学園 1年
〈普通科〉
副砲砲手。チームのムードメーカーで、明るい性格のメガネっ娘



「でもー、あれだけ広かったら、なかにこたつとか置いたら楽しそう～」







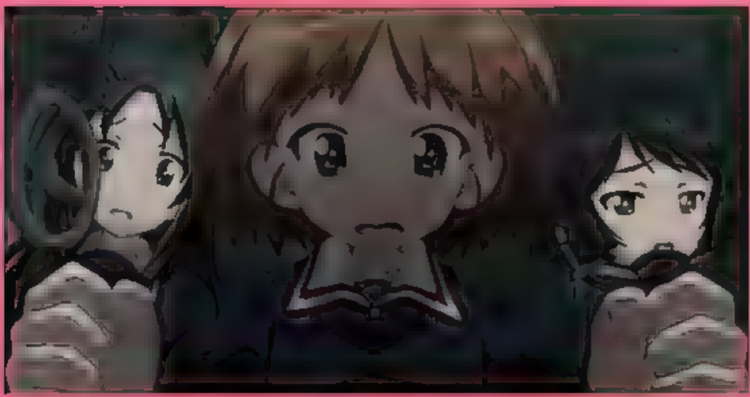
自動車部員の戦車整備録

ウサギさんチームの車輌か、あれは割とノーマルのまんまだね。もともと信頼性は高い車輌だし、電装系とかも当時基準としてはほぼ最高性能だから、同規格の新しい物に替えた程度かな。保存状態も悪くなかったしね。いやー、でもメンテナンスがしやすくて良い車輌だったよ。一回全部降ろせるものは降ろして、エンジンも完全にオーバーホール。あとはちょっちょっとギア比をいじったりもしたけど、ちゃんとオイル入れて、プラグとバッテリー変えたら、普通にエンジンが掛かったから、たいした信頼性だよね。まぁ、空冷エンジンだから、始動前にオイルしっかり回すのが大変だったぐらいかな～。ドレンを外したら、真っ黒なオイルが出てきて、一瞬大丈夫かなって思ったけど、ネジ溝に傷もないし、パッキンも新品に交換したから全然問題なかったよ。ついでにちょっとだけ、エンジン馬力上げておいたけど。あ、本当にちょっとだよ、元のエンジンが450馬力までは出るはずなんだから、それくらいはいじっても平気でしょ？　あと、本来の低オクタンガソリン仕様じゃなく、ハイオク使えるようにしたから、その調整にあちこちいじった程度かな～。いらない物も削って、ちょっとだけ軽量化して、足回りはがっちりチェックしたよ。

できれば主砲を40口径に変えたかったけど、そこまで予算は無くてね。シャーマンと同じ砲だから、市場にはごろごろしてるみたいだけど、学園艦には転がってなかったな～。それと、M4A3用の液冷エンジンとか、もう少し出力の大きいのがあったら、こっそり入れ替えたかったなあ。ほら、軽量化と車体の剛性強化とエンジンの積み替えは、レーシングチューンの基本だからね。防御力も高くないから、車体前面とかに追加装甲を貼るのも考えたけど、まぁ元の装甲が装甲だから、少々増やしたところで当たったら終わりなのは一緒だね。だったら、機動性を上げた方が効率はいいよ。それとほかの車輌でもやってるけど、気をつけたのは排熱と排煙かな。共通規格の安全用装備をしっかり使って、できるだけ内部の空気が綺麗になるよう工夫してみたよ。



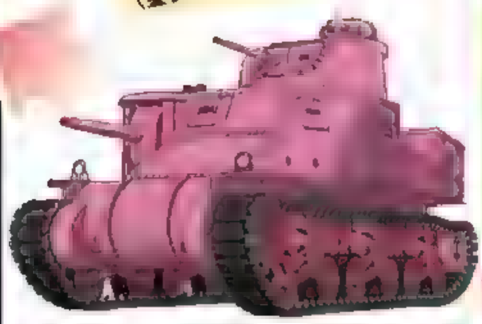
大洗女子学園 3年
自動車部所属 ナカジマ談











何度撃破されてもあきらめない

親善試合の聖グロリアーナ戦を経て、決意も新たに臨んだ全国大会一回戦。相手フラッグ車を追撃する局面では、決して逃げないとチーム全員が心に誓う。その後、ファイアフライの攻撃で行動不能に陥ったが、練習や試合を重ねるごとに、大きな成長を見せていった





身を挺して守り抜いたフラッグ車

緒戦で主砲の75ミリ砲を破壊され、最大の攻撃力を失ったウサギさんチーム。だが、みほたちが相手フラッグ車を捜索する間、ウサギさんチームはフラッグ車である八九式中戦車の盾となる。その決死の行動が実を結び、大洗女子は決勝戦へと進出するのであった



ガルパントピックス

GIRLS UND PANZER TOPICS

『ガルパン』関連情報を紹介する本コーナー。今回は発売中のOVAやドラマCD3をメインに、注目のアイテム情報をお届けします！

OVA ガールズ&パンツァー これが本当のアンツィオ戦です！



わずかなシーンに豪華な方々が協力

迫力ある戦車戦のほか、カエサル&ペパロニの意外な友情など、見どころたっぷりのOVA「これが本当のアンツィオ戦です！」。そのなかで、本誌でもお馴染みの吉川和篤さんやモリナガ・ヨウさんが「作画協力」として登場していたことをご存知だろうか。実は、みほと歴女チームがシェアハウスで読んでいた資料や書籍が、吉川さんとモリナガさんが手がけたものなのだ。とくに注目なのが、左衛門佐が読んでいた「月刊戦車道」。イラスト（モリナガさん担当）はもちろんのこと、文章（吉川さん担当）も、きっちりと書き込まれているのだ。そのこだわりを、ぜひBlu-rayなどで確認して欲しい。

緻密な計算でデザインされた架空の書籍





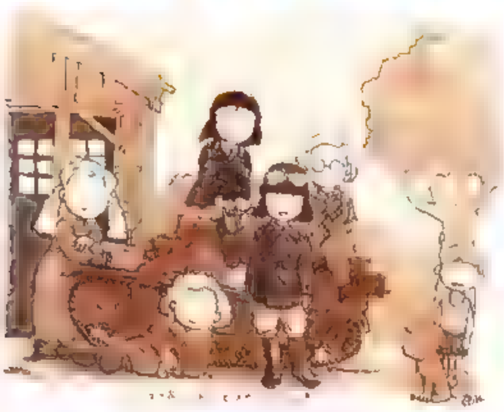






イタリア戦車架空本の表紙は、イラスト&デザインとも吉川和篤さんが担当。3冊並べるとイタリア国旗に見える配色に、イタリア軍研究家である吉川さんの緻密な計算が隠されているようだ

こだわりを込めた「月刊戦車道」の記事









「月刊戦車道」の架空記事では、全文が読めるようにと吉川さんが文章を執筆。かわいらしいモリナガさんのイラストも、架空記事に花を添えている

新たに加わった大洗町の風景

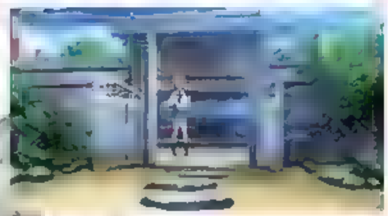




道祖神社付近

歴女チームのシェアハウスを目指すみほが迷っていた地点は、髭釜商店街の裏手にある「道祖神社」のそば。撮影の際には、車に気をつけて欲しい





髭釜（ひげかま）商店街付近

歴女チームのシェアハウスから見える風景は、大洗町・髭釜商店街のもの。循環バス「大洗海遊号」の「髭釜」停留所からすぐ近くの場所にある

※シェアハウスのモデルとなった民家は私有地につき、無断立入りはご遠慮下さい。

はみだし情報

現在「ガールズ&パンツァー通販特設ページあんこう屋」にて、「月刊戦車道」の架空連載記事が掲載された劇場パンフレットを販売中。実際に読むことができる。くわしくは、http://www.movic.jp/info/ankouya/にアクセス！

イベントも盛りだくさん！

9月20日にお台場でイベント開催決定！

9月20〜21日、お台場・潮風公園で行われる「バンダイナムコ アニメキャンプ 2014」に『ガルパン』も参加決定。20日(土)には、渕上舞さんほかのトークショーや、ChouChoさんのステージショーも実施。詳細は、http://www.bn-animecamp.com/を参照のこと。チケットは、現在好評発売中です！

11月3日はウサギさんチームが大洗町に集結！

ウサギさんチーム初イベントが、11月3日(月・祝)の「大洗商工感謝祭」に合わせて、大洗文化センターで開催。アンツィオ戦OVAとドラマCD3を購入された方から、抽選で無料招待となります。参加申し込みには、OVAのBDまたはDVDに封入のシリアルNo.と、ドラマCD3封入のシリアルNo.を順番に入力することが必要。くわしくは、公式HPを参照のこと

ガールズ&パンツァー ドラマCD3 あんこうチーム訪問します！



好評発売中　3,200円(税抜)　発売元 ランティス　LACA-15427　CAST：西住みほ(CV.渕上舞)　武部沙織(CV.茅野愛衣)　五十鈴華(CV.尾崎真実)　秋山優花里(CV.中上育実)　冷泉麻子(CV.井口裕香)　ほか

収録内容

DISC1「あんこうチーム訪問します！」 1.また生徒会の無茶ぶりです　2.聖グロリアーナ訪問します　3.サンダース再びであります　4.アンツィオはおいしそうね　5.夜行列車は通ってないのか　6.少し久しぶりの黒森峰です

DISC2 OVA「これが本当のアンツィオ戦です！」オリジナル・サウンド・トラック 1.秋山優花里のアンツィオ校潜入大作戦です！　2.これが本当のアンツィオ戦です！メドレー1(模擬戦〜試合開始)　3.La Fiamma Nera　4.これが本当のアンツィオ戦です！メドレー2(マカロニ作戦〜試合終了)　5.フニクリ・フニクラ

西住姉妹の会話にドキドキが止まらない

生徒会のムチャぶりで、対戦した各校を訪問して、親睦を深めるように言われたあんこうチーム。その聴きどころは、久々に黒森峰を訪れたみほとまほの会話であろう。少しぎこちない様子のみほに、優しく語りかけるまほの姉妹愛は、やはりうるわしいもの。今は、みほを好敵手として見ている、エリカとの掛け合いも必聴。このCDでしか聴けない、OVAのBGMも収録されているので、ぜひコレクションに加えて欲しい。

アイテム情報

キャラポップストア ガールズ&パンツァー

namco中野店&namco梅田店で展開中
期間：namco中野店・9月28日まで　namco梅田店・9月21日まで

公式HP http://www.namco.co.jp/chara_shop/girls-und-panzer/

●4等級、全41種　●1回400円(税込)　※景品がなくなり次第終了となります

A賞 これが本当のアンツィオ戦です！賞「ミニクッション 全3種」



B賞 調子づかせると手強いです！賞「ランチトート 全2種」



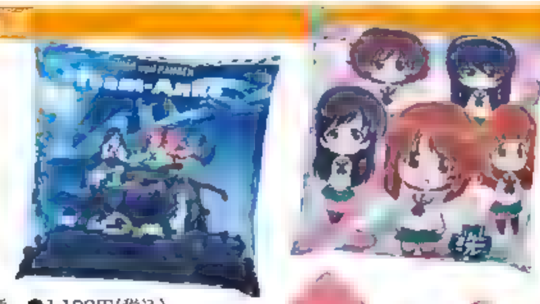
C賞 戦車、乗ります！賞「プレートタグ 全20種」



D賞 戦車道、始めます！賞「ステッカー 全16種」　※ステッカーはランダムでのお渡しになります



クッション
●全2種
●各2,000円(税込)



タンブラー　●全1種　●1,100円(税込)



フードタオル
●全1種
●4,900円(税込)



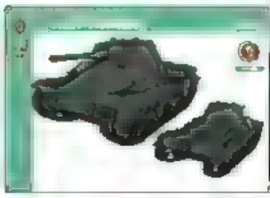
カンバン　●全3種　●各800円(税込)



※画像はイメージです。実際の商品とは異なる場合がございます。商品は数量限定のため、品切れする場合がございます。予めご了承ください。来場者多数の場合は、入場を制限させていただくことがございます。

ガールズ&パンツァー 完全設定資料集

2014年10月17日発売予定
7,000円(税抜)
発行：バンダイビジュアル





TV版から最新OVAの設定資料を網羅したB4サイズの豪華版。また、渕上舞さんの手書き修正台本(複製)も同梱

ガールズ&パンツァー 戦車道、極めます！ ビジュアルガイドブック

好評発売中　2,300円(税抜)
発行：KADOKAWA



ゲーム「戦車道、極めます！」の攻略情報を始め、渕上舞さんや中上育実さんのインタビューも収録。ファン必携の一冊です！

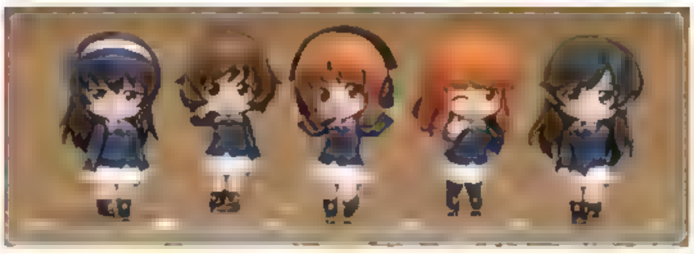
戦車に夢中です！ ──ガールズ&パンツァーとWorld of Tanksで学ぶ戦車読本

好評発売中　1,900円(税抜)
発行：小学館



戦車の構造・歴史から、『ガルパン』での戦術を解説する戦車授業教本。優花里とヘルキャット軍曹の、パンツァーツイートは必見！

ねんどろいどぷち ガールズ&パンツァー





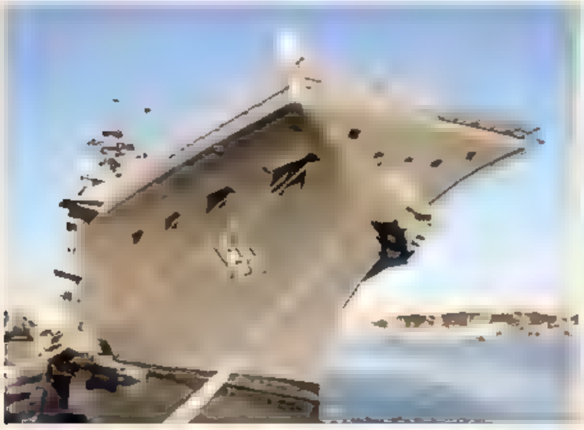
可動フィギュア「ねんどろいどぷち」に、あんこうチームや各校メインキャラが登場。シークレットにはアノ人が!?

●ねんどろいどぷち　●全10種＋シークレット1種　●各648円(税抜)
●発売元：グッドスマイルカンパニー

ガルパン メイキング ログ！

2011年12月17日

「ひゅうが」は、2009年に就航した全長197メートルのヘリコプター搭載護衛艦。飛行甲板は最大幅33メートルで、国内では初めてとなる射撃指揮システムと対空レーダーを統合した、FCS-3を搭載している。





まずはお風呂場を拝見

艦内の住環境を取材するため、お風呂場を訪れたスタッフ一同は、海自の広報担当官から「海水風呂は水虫に良い」と説明を受けた。この話が、桃の水虫エピソードに繋がったのである。









本来、自衛艦といえば住環境はせま苦しいもの。だが「ひゅうが」のお風呂場は、かなりゆったりした印象である



湯船の質感やむき出しになった配管の配置など、生徒会のお風呂シーンでリアルに再現。撮影も、さまざまな角度から行われた



あのシーンのプラークを発見！

プラークとは、共同訓練等での他艦艇との交流時や幹部が訪問したときに、交換する盾のこと。『ひゅうが』艦内にもさまざまなプラークが飾られていたが、そんな様子も余すところなく、特典OVA3話で活かされた。







プラークのシーンを見れば、大洗女子がどの高校と交流があるのかが一目瞭然である





年末のためか、艦内にはクリスマスツリーが。しかも、空母「ジョージ・ワシントン」からの贈り物のようだ

学園艦のためにリクエストした「ひゅうが」の取材

「ガルパン」の制作では、初期の頃から学園艦のアイデアが考えられていた。そこで、ロケハンの候補に選ばれたのが護衛艦『ひゅうが』。これは、杉山潔プロデューサー（杉山P）が海上自衛隊（海自）に、ぜひにと依頼した結果であった。

「当時、全通式甲板を持つ最大級の艦が『ひゅうが』でした。そこで、海自に『ひゅうが』をとリクエストしました。ただ取材は、艦の予定に左右されるもの。それでも『ひゅうが』を取材したかったのです」（杉山P）

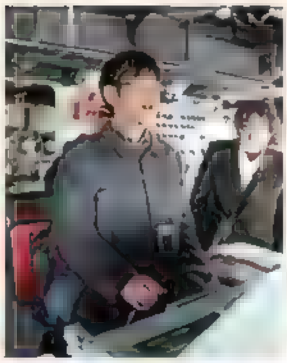
その理由は、大きな艦艇での生活感をメインスタッフに感じてもらうことにあった。

「やはり食堂や風呂など、全般的な生活風景が見たかったですね。あとは、実際に艦の大きさを感じることも大切でした」（杉山P）

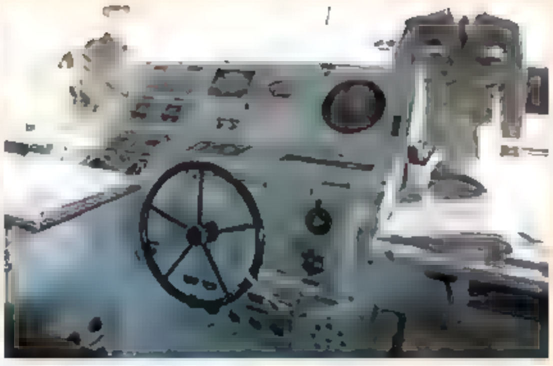
実際に「ひゅうが」の取材は、特典OVA3話にて学園艦内の描写に臨場感を持たせることに成功。各シーンに、取材結果が活かされた。

艦橋の設備に興奮気味!?

やはり艦橋内では、スタッフ全員が興味津々な様子。舵輪に触れてみたり席に座ってみたりと、取材というより大人の社会科見学という雰囲気を漂わせていたようだ。



取材の要点は、本物を体感すること。水島監督も、舵輪の感触を確かめていた

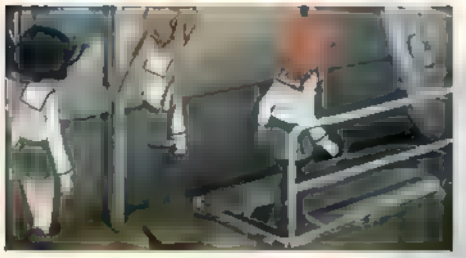


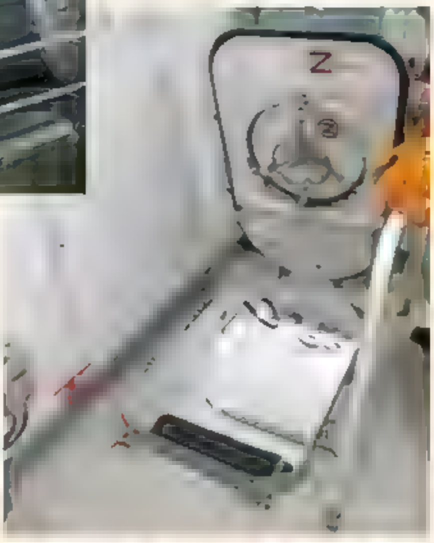






学園艦の艦橋も、席の色など「ひゅうが」内の様子を元に描写。ちなみに高級幹部が座る席は色分けされており、黄色は艦隊司令クラスが座る





特典OVA3話では、通路が一方通行であることが、克明に描かれていた

ハッチなども精密に再現

制作初期に行われるロケハンでは、まだ何をどこに使うか明確でない時期であった。そのため、TV本編ではあまり描写されなかった学園艦の艦内だが、ハッチなどはほぼそのまま描かれていた。

遊んでる訳ではないんです

記念撮影にも見えるが、実は「ひゅうが」と1:35スケール模型との縮尺比が、学園艦に実際の戦車を置いた時とほぼ同じ。Ⅳ号戦車の模型と風景を撮影して、縮尺の感覚を掴んでいた。



しゃがみ込んで撮影する水島監督。この作業が、作画に命を吹き込む原動力となっていた



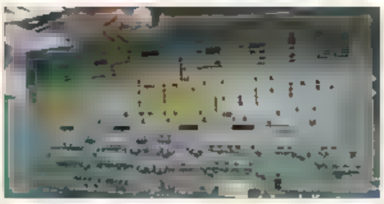




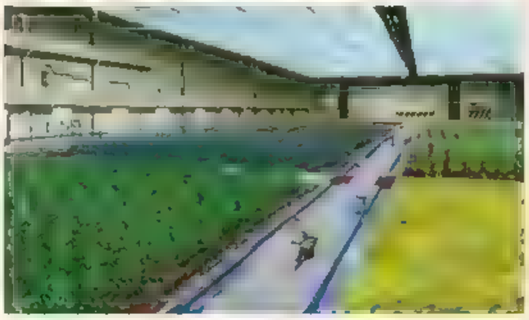
計器類の配置だけでなく、室内の空気感などは、取材して初めて分かるものである

ダメージコントロールルームを参考に

ダメージコントロールルーム(通称、ダメコン)は、艦の状態を一元的に管理・監視して、被害があれば応急処置の指示を行う場所。特典OVA3話に登場した機関室は「ひゅうが」のダメコンを参考に描かれていた。

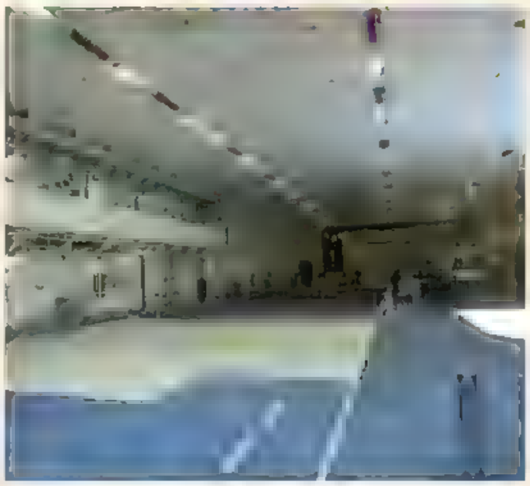






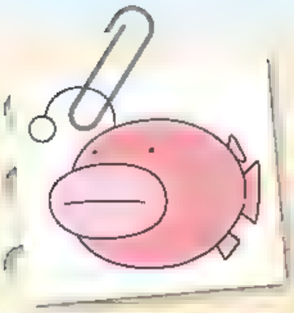
格納庫の描写が生かされた場面

ヘリコプターを格納する、大きな格納庫を持つ「ひゅうが」ならではの光景は、学園艦内の農業科の施設として登場。この時点では特典OVA3話のシナリオはなかったが、農業科の施設を描く発想の原点になった。





よく見ると、両サイドの2F通路に張られたビニールシートは、農業科の施設で描かれたものとそっくり



Girls und Panzer Event Report

ガルパン・イベントレポート

熱気と興奮にあふれた、OVA劇場上映会での舞台あいさつ(新宿・水戸・大洗町)のほか、晴天に恵まれた「ガルパン祭 in 大洗」の模様を一挙紹介。激アツだった各イベントのひとときを、お伝えしちゃいます!

いばらきイメージアップ大賞受賞記念イベント

大賑わい!!

歓喜に沸くファンと大洗町!







イベント後、渕上さんが素晴らしい出来栄えの大洗町・夏のポスターにサインを記入



式典では最後に、常盤さんと大里さんがドリフターズでお馴染みの髭ダンスを披露。大歓声を浴びた



2014年6月7日、観光庁が主催する「今しかできない旅がある」にて、「大洗ガルパンプロジェクト」が2013年度奨励賞を受賞したことを受け、茨城県・大洗町で祝賀イベントが開催された。当日は、雨にも関わらず約2000人ものファンが集結。茨城県・橋本昌知事や大洗町・小谷亮町長が出席する式典の後に、渕上舞さん(西住みほ役)と杉山Pのトークショーが行われた。

登壇した渕上さんは、「大洗町を盛り上げる力になれて幸せ」とコメント。またイベント中は、歩行者天国となった髭釜商店街に56体のキャラクタ・パネルを展示。ファンの目を楽しませていた。

OVAイベント上映 舞台あいさつ・新宿

OVAイベント上映の公開初日となった、2014年7月5日、東京・新宿バルト9他にて、あんこうチームキャスト5人による舞台あいさつが行われた。このなかで、OVAの印象を聞かれた中上育実さんは「アンツィオ高校の食べ物がおいしそう」と発言。登壇した一同の賛同を得ていた。またこの日は、サプライズとして水島監督のコメントも披露された。それを受けて劇場版への期待を尋ねられた一同は「ガルパンランドを作りたい」などと夢を大きく膨らませた。そして最後は「パンツァー・フォー」の掛け声で、舞台あいさつは和やかに終了した。





新宿バルト9のロビーには、各声優さんたちが製作した戦車模型や、さまざまな展示物が飾られていた



左から渕上さん、茅野さん、尾崎さん、中上さん、井口さんと舞台上には、あんこうチームが勢ぞろいした



冒頭のあいさつで鈴木さんは、「まさかアンツィオが勝つとは」などと冗談を連発。観客の爆笑を誘っていた



池袋シネマチ祭 ~砲撃体感ナイト~

2014年6月8日、東京・シネマサンシャイン池袋にてTV本編をセレクトした上映会が行われた。上映後に杉山Pの司会のもと、OVA脚本の鈴木貴昭さん、イタリア軍研究家の吉川和篤さん、軍事評論家の岡部いさくさん、音響監督の岩浪美和さんが登場。とくに岩浪さんによる4.1ch「センシャラウンド改」の説明に、集まったファンは興味深く耳を傾けていた。

OVAイベント上映 舞台あいさつ・水戸

期せずして巻き起こる「ドゥーチェ」コール!



茨城県・シネプレックス水戸にて、2014年7月19日に開催された舞台あいさつには、渕上舞さんや尾崎真実さん、中上育実さんのほかに、アンチョビ&近藤妙子役の吉岡麻耶さんが参加。映画の見どころを聞かれた吉岡さんは「はっきゅんのおしり」と答え、大歓声を浴びた。また渕上さんは、優花里がアンツィオ高校から帰還したときに言った「またぁ?」を録音する際に受けた、演技指導のエピソードを披露した。そして最後に、吉岡さんがファンへの感謝の気持ちを述べると、期せずして「ドゥーチェ」コールが発生。これには、水戸をホームと思っていた渕上さんたち3人も、びっくりしていた。





壇上には、声優さんたちが演じたキャラクターパネルが飾られており、これまでにないパターンに、声優さんたちも驚いていた



劇場入口に開店したナムコの「キャラポップストア ガールズ&パンツァー」。多くの人で賑わった

ガルパン祭 in 大洗

2014年7月20日、茨城県・大洗町の曲がり松商店街で開催された「第30回曲がり松100円商店街」に「ガルパン」が参加。大洗文化センターや商店街でのトークイベントで、集まった人々を盛り上げていた。また、まいわい市場2Fの特設会場には、PSVゲーム「戦車道、極めます!」やボードゲーム「ぱんつぁー・ふぉー!」、「World of Tanks」等の試遊コーナーが設置された。さらにラジコン戦車を使った射的やスラローム走行、風船を割るタイムを競う「ラジコン戦車道選手権」、月刊モデルグラフィックス主催の、第2回MG的模型戦車道選手権」の投票も行われ、「ガルパン」一色の一日となった。

OVAイベント上映舞台あいさつ 大洗文化センター



OVA上映の後、渕上さん、尾崎さん、中上さん、吉岡さんと杉山Pが登壇。大洗大使を務める杉山Pには「大使」コールが飛び交った。声優さんたちのトークでは、M41セモヴェンテとⅢ号突撃砲の一騎討ちが話題に。劇場版の話では、大洗町の皆さんにも登場してもらい、アフレコも本人が担当して欲しいと渕上さんが希望を語った

曲がり松商店街 トークショー



大洗文化センターでのあいさつを終えた渕上さんたちは、午後から商店街の特設ステージに登場。100円商店街にちなんで、商品の紹介を行った。そこで注目を集めたのが、大洗町のイメージキャラ・アライッペのグッズ。かわいらしい品々に、声優さん一同から歓声が上がっていた

店主もパネル化!



この日より、曲がり松商店街の各店主がパネル化。個性豊かな各店主たちの人柄が感じられるパネルは、さらなる親近感を沸かせるものであった

水戸ホーリーホック vs ザスパクサツ群馬 ガルパンコラボマッチ



100円商店街の後、渕上さんたち4人は水戸ホーリーホックとザスパクサツ群馬の試合で、トークショーを実施。コラボユニフォームに身を包んだ4人は、広いスタジアムに感無量な様子。試合は、尾崎さんが「この一撃は、ホーリーホックの勝利を決める一撃」と紹介した鈴木隆行選手が、2ゴールを決めて水戸ホーリーホックが勝利した。



試合会場では、ガルパンとミツウロコがコラボした、オリジナル天然水が発売されていた

杉山大使が熱唱!



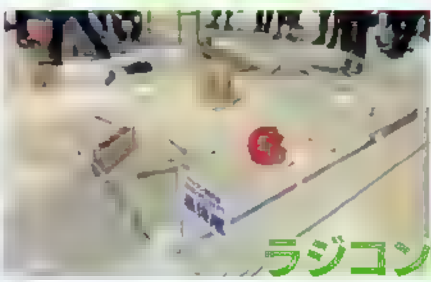
アニソンカラオケ大会にゲスト参加した杉山Pは、自身が手がけた「ストラトス・フォー」のOP曲「1st Priority」を披露!

落書きバスも登場

3月の海楽フェスタに続いて登場した落書きバス。大勢のファンが、イラストやメッセージを書き込んだ



ラジコン戦車道なども開催



まいわい市場2Fで行われた「ラジコン戦車道選手権」では、白熱した熱戦が展開。参加者はみな、童心に帰ったように競技を楽しんでいた

アライッペグッズ発売中!

大洗町のイメージキャラ・アライッペグッズは、大洗町観光情報センターで発売中。紹介した商品のほか、缶バッジ(100円・税込)やファイルフォルダ(200円・税込)もあります



●ポロシャツ ●色:全7色
●サイズ:SS～4L ●1,800円(税込)



●ピンバッジ ●350円(税込)

→バックトゥザカーニバル
BACK TO THE CARNIVAL

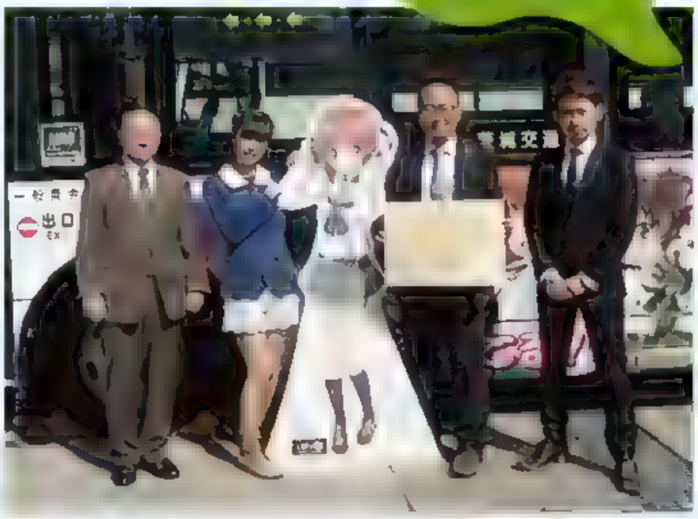
過去のイベントやトピックスをピックアップした本コーナー。今回は「大洗海開きカーニバル」など、2013年夏に行われた熱いイベントを中心に、振り返ってみたいと思います。

観光庁表敬訪問

2013年6月27日　東京・霞ヶ関

観光庁主催の第1回「今しかできない旅がある」にて、大洗町の取り組みが奨励賞を受賞。その授賞式出席のために、大洗町＆ガルパン関係者は観光庁を表敬訪問した。この訪問のために、関係者はわずか2週間でラッピングバス2号車を製作。痛バスで霞ヶ関に乗り込むという、前代未聞の快挙を成し遂げた。







ラッピングバスやキャラクターパネルを携えた一行は、第1位を取ったプロジェクトよりも目立っていた

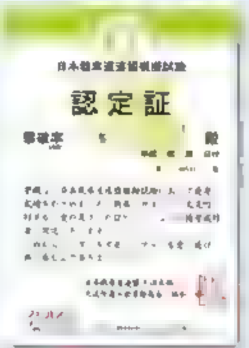


渕上舞さんほか、観光庁長官室を表敬訪問した関係者一同は、観光庁長官も交えて恒例の「パンツァーフォー」を唱和した

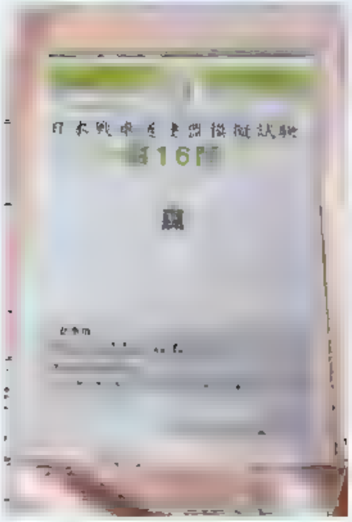
日本戦車道連盟模擬試験

2013年6月29日～12月31日　茨城・大洗町

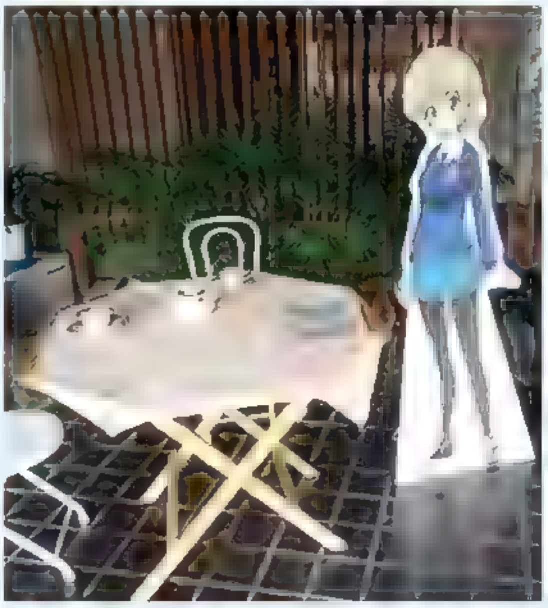
大洗町全体を使った企画として、20ヶ所に設置されたQRコードを携帯＆スマートフォンで読み取り、最後に答え合わせをする模擬試験。その行程は、大洗町をほぼ一周するものであった。また出題される問題も、定期的に変更。内容もガルパン関連だけでなく、大洗町に関するものなどと多岐に渡った。



撃破率（正解率）80%以上でもらえる認定証。全問正解の場合、撃破率は120%となる

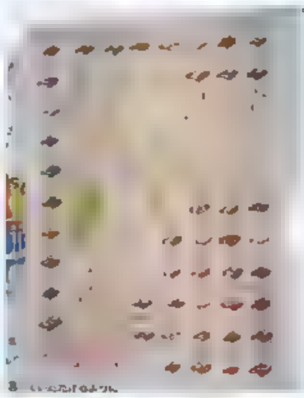


問題はすべて、QRコードで出題。全問正解には、ガルパンの知識だけでなく、大洗町の勉強も必要だった



各店舗に飾られた戦車パネル。愛のある説明文が添えられたり、花で囲んでみたりと、独特の方法で展示されている





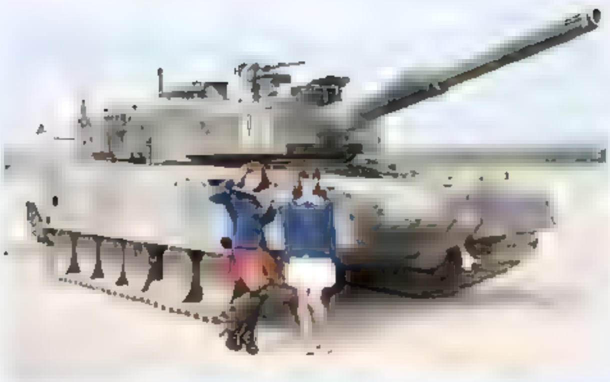




ガルパン街なか戦車せいぞろい！

2013年6月19日～継続中　茨城・大洗町

キャラクターパネル展示に引き続き、ガルパンに登場した全45輌の戦車パネルが、この日より大洗町で展示を開始。現在も継続中である。なお、すべての戦車をコンプリートしたい方は、大洗駅などで利用できるレンタサイクルがオススメ。もちろん、ゆっくり歩いて回るのも、楽しみ方の一つだ。





陸自・富士学校で10式戦車に搭乗したことがある渕上さんと中上さんは、このツアーで74式戦車、90式戦車と日本の現役戦車をすべて制覇した

さんふらわあ北海道イベント

2013年7月12日〜15日　北海道・苫小牧ほか

このツアーは、苫小牧開港50周年イベント「Sea級グルメ」に連動したイベント。12日に大洗港を出港したさんふらわあ船内のトークショーには、中上育実さんと杉山Pが参加。翌13日には渕上舞さんが合流し、14日にはラッピングバス2号車で陸上自衛隊・東千歳駐屯地を訪れ、見学&戦車体験搭乗が行われた。





大洗海開きカーニバル

2013年7月13日〜15日　茨城・大洗町

海上自衛隊の訓練支援艦・てんりゅうの体験航海や、陸上自衛隊が誇る最新鋭戦車・10式戦車の展示で、全国ニュースとなったこのイベント。最終日の15日には、佐々木あけび役の中村桜さんと、北海道から帰ってきたばかりの渕上さん&中上さんによるトークショーが開催された。トークでは、てんりゅうや10式戦車が集結したこともあり、ミリタリー系の話題で盛り上がった。







14日には、てんりゅうの一日艦長に中村さんが就任。濃霧のため出航できなかったものの、白い制服姿を披露した





PROJECT G
Supporters of Girls und Panzer

マンガでアンツィオ戦を、緻密な心理描写を絡めて描いた才谷屋龍一さんと、2014年3月の海楽フェスタにて終夜営業を実現した、潮騒の湯・小俣和大さんに、お話を伺いました。



才谷屋龍一

さいたにやりょういち ● マンガ家

1月29日生まれ、大阪出身。『ガールズ&パンツァー』の本編を秋山優花里の視点で捉えたコミカライズを担当。長期間、マンガのアシスタントをしており、そこから今回の作品にたどり着く。仕事の資料と言って、戦車のプラモデルを30輌以上作っては大喜びしている

同人誌がきっかけで『ガルパン』の世界に

――才谷屋先生がミリタリーに目覚めたのは、いつ頃ですか？

だいたい、7年前くらいですかね。当時は、マンガ家のアシスタントをしておりまして、ミリタリー的な要素をマンガに入れている先生がいたので、仕事柄もあって少し興味が湧いていたんです。そこで僕の方から先輩アシスタントの源大雅さんに声をかけて、一緒に「それいけ！ロシア女子戦車小隊」という同人誌を作ったんです。最初に提案したのは、学園物のミステリーとロシアを舞台にしたミリタリー的な女の子物でした。そうしたら源さんがロシア好きだったので、ミリタリー物をやることになりました。ただ当時、野上武志先生のアシスタントもやらせていただいており、完成した同人誌を読んでいただいたのですが、厳しいご意見……というか、ボコボコに言われました(笑)。

――『ガルパン』のコミカライズは、その同人誌がきっかけですか？

そこが始まりだったと思います。実は現在の担当さんが、その同人誌を購入されていて、声をかけられたという経緯がありました。また、後で聞いた話ですが、編集長も同じ同人誌を持っていらして、担当さんと意見が一致したということでした。

――コミカライズ当時はまだ、アニメ放映前でしたが、執筆にあたりプレッシャーなどありましたか？

プレッシャーはありましたが、大変光栄に思いました。そこで、全力でやろうと。ただPVが公開された瞬間、戦車の内部が克明に描かれていて戦慄を覚えました。戦車の内部資料って、あまりないんですよ。それでアニメの本気度が分かって、もう一段階上での覚悟を決めました。

――実際のコミック版は、どのような過程で描かれていましたか？

最初、主人公を誰にするかが決まっていなかったんです。やはり、アニメと同じ物を描くのであれば、放映を見ればいいという話になりますよね。でも、アニメと離れすぎても読者の支持を得られない。そこで、みほ以外からの視点で描いた方がいいという話が出てきて、最終的に優花里を主人公にしました。ただ優花里視点で、みほの側面や物語の展開をどう描いていくかが、苦労したところでもありました。例えばアニメ第8話で、まほの前でみほの母親であるしほが、プラウダ高校戦で勘当を言い渡すつもりだというエピソードがありました。でも、いきなりみほが勘当を知らされるとあまりにも酷だと感じたので、マンガでは槌居先生が描いている外伝「リトルアーミー」の登場人物である菊代さんをお借りして、一連の流れをみほに伝えるシーンを加えました。また、優花里が2人の話を偶然聞くことで、彼女の視点によるドラマチックな展開が描けると感じていました。

今までにないキャラとしてアンチョビを構築

――では、コミカライズのアンツィオ戦ですが、どのような経緯で描かれることになったのですか？

実は当時、後半の展開が決まっていなかったなかで、アニメではあえてカットされたアンツィオ戦を描いてみたらどうかという話が持ち上がったんです。実際にアンツィオ戦を描くのであれば、読者の心に爪痕を残すような物語を作りたい。そこで、戦術面では考証・スーパーバイザーの鈴木貴昭さんにサポートいただき、人間ドラマは僕が考えていきました。実際に鈴木さんからのプロットを読んだ時、カッコ良い戦術が書かれていたので、これは絶対にいい作品にしようと頑張りました。

――コミック版・アンチョビのキャラクター性は、どのように構築したのですか？

アンチョビは、分かりやすいキャラクターにしたかったという思いがありました。また、今までに登場したことのない性格にしたかった。そこで前





プロジェクト
～ガルパンを支えた人びと～





回大会で勝利よりも仲間の救助を優先する、みほに怒りを燃え上がらせるキャラクターにしました。たぶん、アンチョビが考えている事は、まほも同様だと思えるんです。また、アニメではまほとみほの会話シーンが少ないんです。だからある意味、まほの心情をアンチョビに語らせたかったところもありました。チームを勝利に導くためなら、仲間を助ける以上の使命感を持たなければならないと。勝利や責任感も戦車道が持つもう一つの側面として、少しディープな物語を描きたいと思っていました。

―カルパッチョは、完全にオリジナルだったのですか？

そうですね。アンチョビが仲間のために戦うのであれば、彼女を支える対象的なキャラクターも必要だと感じたんです。負けたアンチョビがカルパッチョに「すまなかった」と謝りますが、相手に対しては強気でも身内には少しウエットなギャップを見せるという、受け皿として生まれたのがカルパッチョでした。最初は、トウモロコシの粉をお粥にしたイタリア料理から名前をとった、ポレンタという黒髪少女も考えたんです。本当はポレンタを推したかったのですが、最終的にカルパッチョが選ばれた感じでした。

会長のラストシーンは今でも感涙することも

―今回のOVAを、ご覧になった感想をお願いします。

劇場上映では、重低音がすごかったですね。劇場公開の初日に新宿バルト9で観たのですが、視界いっぱいに広がる戦車の地響きや砲撃音に圧倒されっぱなしでした。ずっと戦車の砲撃音を聞いていたかったですね（笑）。あと、カルパッチョとカエサルの交流が描かれていて、友情は永遠だよというシーンはかわいらしいなと思いました。さらにラストで、「私はカエサルだ」という返しで、「私はカルパッチョで」という取り上げ方をされて、生みの親としては感無量でした。

―ほかのお気に入りのシーンは？

ドゥーチェコールでアンチョビの顔が、手前の腕で隠れる場面がありますよね。アンチョビが「一番カッコ良いシーンなのに、顔が隠れるあたりで、彼女の不憫さから今まで以上の愛着を感じました（笑）。

―そうすると、好きなヒロインは誰になりますか？

優花里ですね。そのほかにもいろいろといますが、角谷会長も好きですね。最初は悪役っぽい役回りでしたが、あっけらかんとしていても、押さえるべきところは押さえている。キャラクターデザインをされている杉本功さんの絵を見ていると、妙にかわいくて愛を感じるんです。とくにアニメ第12話のラストシーンでみほに抱きつくシーンがありますが、今見てもウルっと涙ぐむこともあります。

すべてのご縁が『ガルパン』の仕事に結実

―『ガルパン』の仕事を通じて、クリエイターとしての驚きや発見などありましたか？

本当に、驚きや発見がありすぎました。『ガルパン』のお仕事自体、同人誌がきっかけとなった担当さんとのつながりを感じていますし、かつて野上先生のアシスタントをしていた時、鈴木さんにもお会いしていたんです。だから今回のお仕事は、いろんな人の縁で成り立っていて、どれ一つ欠けてもできなかったことだと思うんです。また、いい作品作りには限界を超えて真正面からぶつからなければならないと学びました。

―最後に、今後の予定とファンへのメッセージをお願いします。

秋にメディアファクトリーさんからコミックアンソロジーの第二弾が出ますが、そちらに短編を描いております。また、秋から『ガルパン』スピンオフ作品を予定しています。これはKADOKAWA「コミックウォーカー」でのウェブ連載で、マジノ女学院が登場する予定です。僕自身も『ガルパン』に魅了された人間でもあるので、応援団の一人として、新しい物語をファンに提供できればと思います。これからも、よろしくお願いいたします。

今回のお仕事は人の縁で成り立っていて、どれ一つ欠けてもできなかったと思います。

プロジェクトG
PROJECT G
Supporters of Girls und Panzer
～ガルパンを支えた人びと～



小俣和大

こまたかずひろ ● 株式会社 潮騒の湯 総務兼営業課長

1983年2月11日生まれ、大洗町出身。2010年、株式会社 潮騒の湯に入社。常盤良彦氏に誘われ、アンコウ作戦本部にて、ガルパンイベント企画や運営に携わるようになる。大洗町商工会青年部員・地元消防団員として、イベントのたびに町中を奔走している

対戦相手に感情移入 それで黒森峰ファンに

——『ガルパン』のアニメを見始めたのはいつ頃ですか？

ちょっと遅くて、最終話が放映された後からなんです。銃火器系はそれ以前から興味があったので抵抗はなかったんですけれど、初めは大洗町がいつ出てくるのだろう、ということばかり気にして見ていました。第4話に大洗が出てくるという話は聞いていたので。でも第4話を見た瞬間にトリコになりました。

町が映っていたのはもちろんですが、戦車の動きがすごかったんです。こんな表現ができるのか、という動きだったので驚きました。履帯がグニョグニョと路面状況に合わせて動いたり、重心を考えて車体の挙動が描かれていたり、細かい部分まですごく表現されていると感じました。それで、ストーリーにもどんどん引き込まれていきました。

私はアニメを見ていると、敵キャラに感情移入してしまうんですが、それぞれ出てくる相手チームも、個性が強くて引き込まれました。なので大洗女子チームよりも、相手チームがいい対戦をしてくれることを望みながら見ていました。最終的には黒森峰ファンになりました。

マウス初登場の時、ビルの陰からドーッと出てきた迫力にやられました。最後の大物出現という感じで。大洗女子がみんなで協力してマウスを倒す戦法も、団体戦の戦術を使ったそれまでの戦いにはないパターンだったので、見応えがありました。ラストはやっぱり、まほは妹思いだったと分かったことも良かったですね。ストーリー上、最終的な核になるのはあの二人だと思ったので。

それで潮騒の湯に、マウスの戦車パネルが来ればいいなと思っていましたが、実際に飾ることができてうれしかったです。

入浴セットの反響とファンの人柄の良さ

——黒森峰の入浴セットは小俣さん自身の発案だったのでしょうか。

そうです。常盤（良彦）さんと『ガルパン』の打ち合わせをしている際に打診しました。潮騒の湯は温泉施設がメインなので、入浴時に使えるタオルとのセットを作ろうと考えたんです。お風呂に入っていただく場所なので、関連グッズがあれば皆さんが喜んでくれるかなと考えまして。2013年6月末くらいから発売を開始したのですが、ありがたいことに予想を超える反響をいただきました。

ファンの方々から、「気に入りました」「黒森峰への愛を感じました」という声をいただいたこと、それが一番うれしかったですね。黒森峰の同志が増えたような気がして（笑）。

——大洗町はファンを受け入れるサービス精神であふれていますから。

もともと観光地だということもありますので、そのような下地はあったと思います。でもそれ以上に、ガルパンファンの「人柄」の良さが大きな理由ですね。町の方々も、本当にマナーが良いと言っています。



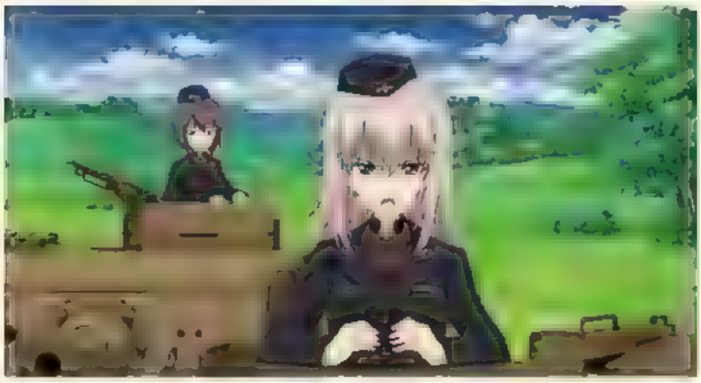






潮騒の湯のオールナイト営業は大変でしたが
やって本当に良かったと、心から思います







オールナイト営業での貴重な体験とは？

――2014年3月の海楽フェスタの際には、終夜営業を潮騒の湯で行うということもありました。

2月に常盤さんと杉山さんから唐突に打診がありまして、打診と言っても断れない状況が作られているので（笑）。潮騒の湯をオールナイトで使わせてくれないか、という話で、ほかの宿に泊まれないお客さまに暖を取っていただこうということでした。最初は無理だと思いました。スタッフ数も足りませんし、土日なので海楽フェスタ以外のお客さまも大勢いらっしゃる日ですので。でもダメ元で会社にお願いしてみたら、「やろう」ということになりました。そこから全社一丸で動き出して、オールナイト営業ができたんです。

――会社全体がガルパンに対して好意的だったんですか？

入浴セットを作った頃から、すごい、ということが徐々に分かってきまして、スタッフにDVDを持っていって「見てみろ、すごいから」と言って薦めたり。内容を知っていると、お客さまとの共通の話題ができるので、接客がやりやすくなるんです。コミュニケーションが取れれば、接客の仕方も変わりますし、お客さまからも好印象をいただけますし。

――オールナイト営業の準備で苦労したことはありましたか？

一番苦労したのは、人員の確保です。昼間は通常営業をして、前夜祭の夜からガルパン専用の「潮騒ベースキャンプ」と題して営業するため、ひと晩中の仕事をひとりずつ説得していきました。初の24時間営業でしたので、どうなるか予想もつきませんし、大広間を使ったイベントも初の試みでしたので。また、ベースキャンプの一環としてトークショーや、バンダイビジュアルさんが用意してくれたあんこう祭のビデオを流すため、音響設備などを曲がり松商店会から借りてきて用意したんですが、プロジェクターと画面位置の調整方法もよく分からなかったので苦労しました。ですが観光協会の鬼澤さん、この日のためにわざわざ他県からボランティアでお手伝いに来てくれた方2名、そして一部のお客さまがお手伝いをしてくださったことによりセッティングは無事終わりました。イベントは深夜23時から、40分くらいのトークショーをお願いしていたんですけれど、気づいたら時間がどんどん経って、終わったのは深夜1時過ぎ。それだけ盛り上がった、楽しいトークショーでした。あんこう祭の映像はトークショーの後に流す予定でしたが、深夜遅くになってしまったため、寝る方のために音量を下げて流しました。こちら側の不手際でご迷惑をおかけしました。

あと、皆さま雑魚寝で寝ていただいたので、隣の方のいびきで帰ってしまった方もいらっしゃったんです。クレームをいただいても仕方のない状況でしたが、そういう方ですら「今日はありがとうございました」と言っていただきました。

ほかの皆さんからも、励ましの言葉ばかりいただきました。「ずっと夜中まで頑張っていただいてありがとうございます」と言われた時には、涙が出そうになりました。皆さん本当にいい人ばかりでしたね。オールナイト営業では、貴重な経験をさせていただいたので、すごくありがたいと思っています。最終的には皆さんにも満足して帰っていただいたので、本当にやってよかったと心から感じています。

黒森峰企画第三弾を用意中！ 期待せよ!!

――今後、潮騒の湯で考えている企画を教えてください。

今、ほかほか作戦セットというのをやっているんですけれど、その次に、黒森峰企画の第三弾を準備しています。まだ詳細を発表出来る段階ではないのですが、期待してお待ちください。個人的に今後やってみたいことは、クイズ大会のクイズ内容を考えることですね。あがり症なので、あまり前面に出たくないんです（笑）。

――最後に、読者へメッセージをお願いします。

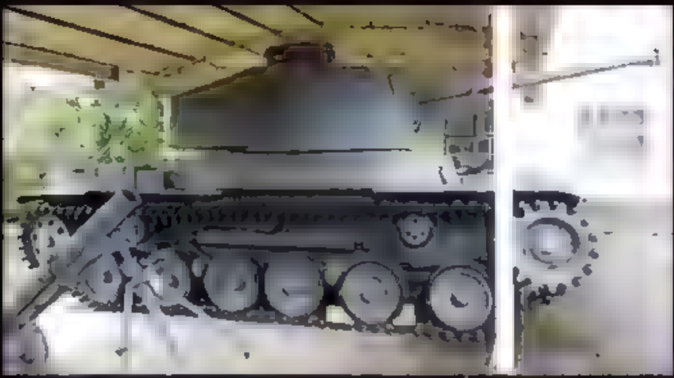
当館は町の中心から少し離れてまして、歩いて行くには遠いのですが、町を巡った後に、汗を流しにでも来ていただければ幸いかと思います。皆さまのご来館を、お待ちしております。

Girls und Panzer Style

ガルパン流 戦車の楽しみ方

ファンであれば、一度は本物を見てみたい劇中の戦車。そこで今回は、三式中戦車など本物を展示している土浦駐屯地 武器学校を紹介。さまざまな戦車や施設内の見どころをお伝えします。

劇中に登場した戦車に会ってみよう！





三式中戦車



世界で唯一、武器学校に現存している旧日本軍最後の量産戦車。残念ながら自走はできないものの、良好な状態で保存されている。劇中では、アリクイさんチームが使用したが、味方フラッグ車の盾になる形で撃破された。

三式中戦車以外で展示されている戦車たち

屋外展示装備品等では、陸上自衛隊が使用した戦車のほか、さまざまな車輌を展示。ここでは、その一部を紹介！



61式戦車

戦後初の国産戦車としてデビューした、かつての主力戦車。お椀のような砲塔部分と、90ミリ主砲の先端部にあるT字型のマズルブレーキが印象的な、懐かしい戦車でもある。



74式戦車

その名の通り、1974年に制式化された陸自二代目の国産戦車。丸みを帯びた砲塔のフォルムとアクティブ投光機が特徴で、現在でも北海道以外では、主力戦車として配備されている。



90式戦車

北海道や富士教導団以外では、ほとんど配備されていない陸自三代目の国産戦車。10式戦車の登場で、最新鋭の座は譲ったが、現在でも他国の戦車と同等の性能を誇っている。



60式自走106ミリ無反動砲

戦車ではないが、待ち伏せ攻撃にて戦車を撃破するために開発された、国産装甲車輌。対戦車誘導弾が開発される前までは、タンクキラーとしての任務を担っていた。



M24 チャーフィー軽戦車

1944年12月、バルジの戦いにて初陣を飾ったアメリカの軽戦車。高い機動力を持つ戦車で、日本には1952年、自衛隊の前身である警察予備隊に供与。初期の自衛隊を支えた。



M4A3E8 シャーマン（イージーエイト）

第二次世界大戦中に開発された、M4シャーマンの型式のひとつ。1944年から生産が開始され、大戦後は朝鮮戦争でも活躍。1954年には発足したばかりの陸自に約200輌が供与された。

教えて! 女性自衛官さん

教えてくれた方 提橋(さげはし)美由紀(みゆき)陸士長



——陸上自衛隊に入隊されたきっかけは?

提橋 一般大学で就職活動中、たまたま合同説明会があって、そこで自衛隊のことを知りました。私の場合、普通の人とは違うことをしてみたいという思いがありましたので、陸上自衛隊に入隊しました。

——『ガールズ&パンツァー』という作品をご覧になったことはありますか?

提橋 広報の方から、DVDを借りて拝見しました。第1話を見た感想は、自衛隊を知っているものとして、ありえないと思えるところもありました。でも物語が進むにつれ、主人公のみほたちと同じ気持ちになりました。自分も頑張って、困難を乗り越えようと共感を持ちました。

——とくに、印象深かったエピソードはどこでしたか?

提橋 第9話のプラウダ戦ですね。自分と共通する部分が多くて印象的でした。主人公のみほが、同級生たちやチームの仲間と協力して、困難を乗り越えるところが、自分の業務である装輪車の整備や毎日の訓練などと重なって、仲間って大切だなと思いました。

——好きなヒロインは誰ですか?

提橋 やはり、みほがかわいらしいなと思っています。みほは戦車道から逃げていましたが、私自身も最初、整備の仕事が苦手でわからないことだらけだったんです。でも同じ部隊の先輩たちに励まされながら、いろいろと教えていただいたんです。そこで仲間と協力して、自分から困難に向かっていくところが、みほと重なって見えました。

——劇中で登場した戦車で、好きなものは?

提橋 八九式中戦車ですね。ここ武器学校に、復元された車輌もあるので興味が湧きました。また、いろいろと調べて八九式中戦車が、国産初の戦車だと知りました。10式戦車もここにありますが、国産第一号と最新鋭戦車を比べて、こんなに変化していったんだとおもしろく思えました。

——最後に、やりがいやメッセージを!

提橋 最初、整備の仕事は希望した部署ではなかったんです。でも今は先輩たちに恵まれて、楽しく仕事をしております。また10月5日には、開設記念日で駐屯地内が一般公開されますので、ぜひ見学に来てください。



今回、武器学校を案内していただいた、広報の方々。皆さん気さくな方ばかりでした。





小火器コーナー

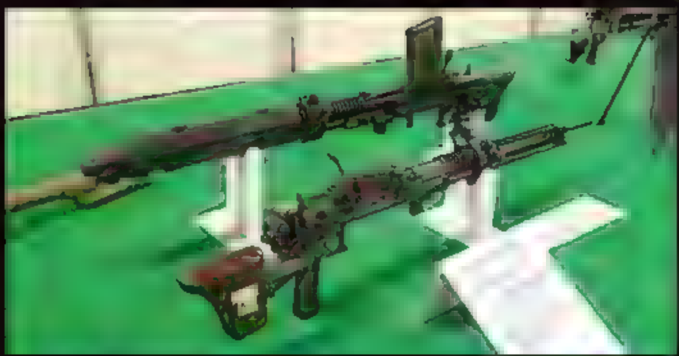
広報地区に併設されているこの施設では、古今東西の銃器を展示。日本における銃器の歴史や発展が紹介されており、海外のめずらしい銃器なども多数収められている。

火縄銃から村田銃へ





村田銃とは1880年、村田経芳により開発された、日本初の国産小銃。ボルトアクション式の単発銃で、旧日本陸軍に採用された。当時は他国の小銃と引けを取らない機能と性能を持ち、日清戦争では、日本軍を勝利に導いた。



三式・九七式中戦車に搭載された重機関銃

写真の機関銃は、1938年(皇紀2597年)に制式化された、九七式車載重機関銃。三式中戦車や九七式中戦車などに搭載されたほか、銃身を支える二脚を取り付けることで、地上戦での使用も可能とした。

かつての日本軍を支えた小銃

三八式(サンパチ)小銃の愛称で有名な、かつての日本軍制式小銃。第一次世界大戦から第二次世界大戦までの間、主力小銃であり続けており、多くの派生型も開発された。



八九式中戦車は車庫にて保存中





アヒルさんチームの八九式中戦車は、良好な状態を維持するため、現在は別の場所にある車庫にて保存中。一般には公開されていないが、もしかしたら開設記念日などのイベントで見られるかもしれない。

武器学校の見学方法・諸注意

- 広報地区にある、屋外展示装備品および小火器コーナーを見学する場合、事前に電話にてお問い合わせのうえ、見学日の2週間前までに予約が必要となります。また、休日・祝祭日、予科練平和記念館休館日は、見学ができませんのでご了承ください。
- 予約には、規定の書類(見学・取材等申込書、部隊見学(取材)者名簿)に必要事項を記入・捺印のうえ、提出していただきます。必要な書類は、陸上自衛隊武器学校HP「見学申し込みについてのご案内」にて入手できます。
- 小火器コーナーは、毎月一回の指定日のみ、見学ができます。こちらの見学を希望される場合にも、2週間前までに事前の予約が必要です。なお、屋外展示装備品と小火器コーナーで予約が集中した場合、ご希望に添えないこともあります。

くわしくは、陸上自衛隊武器学校HPをご確認のうえ、必ずルールを守って見学してください。

武器学校とは?



土浦駐屯地内にあり、1952年に開設した施設。陸上自衛隊の各種装備品や武器などの整備員の養成や、後方支援部隊などの指揮官や幕僚の運用教育を実施している。また装備品の研究・開発や、補給・整備を行う部隊運用の研究も行っている

HP　http://www.mod.go.jp/gsdf/ord_sch/
住所　茨城県稲敷郡阿見町青宿121-1
電話　029-887-1171(総務部広報班)
見学時間　9:00~16:00
※見学には、2週間前までに事前の申し込みが必要となります
詳細はHPをご覧ください。



それいけ！ガルパン料理道

OVAで登場した、ボリュームたっぷりでおいしそうな鉄板ナポリタン。今回は、ブロンズ流の調理方法で再現した、名物ママさんに作り方のコツを教えていただきました。

●今回のテーマ●
アンツィオ高校名物
鉄板ナポリタン





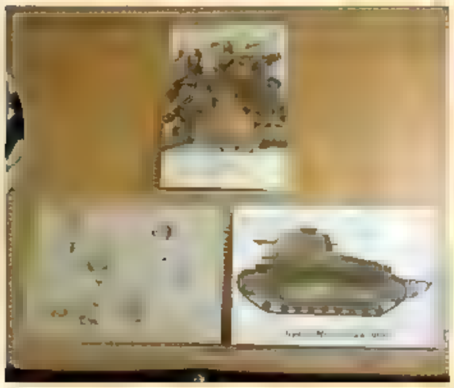
40年間、大洗町の皆さんに愛されている「軽食・喫茶ブロンズ」。懐かしい雰囲気の店内には、各種グッズやOVAでミリタリー監修を務めた吉川和篤さんのポストカードが飾られており、ガルパンファンが集まる名所にもなっている。

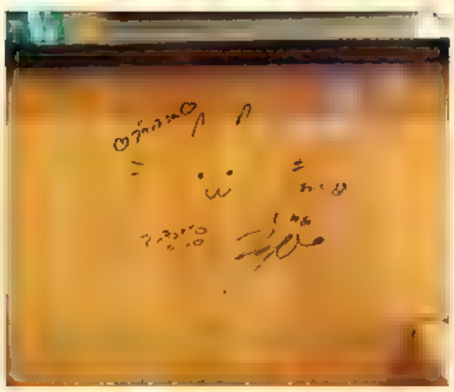
「イベントで忙しい時には、お客さんが手伝ってくれるので、本当に助かっています」とうれしそうに話すママさん。しかし、震災の際には大変なご苦労があったという。

「三年前は、店内まで海水が入ってきちゃって……。そのあとも大変だったのですが、ファンの皆さまに守られて元気を貰いました」

どんなに忙しくても気さくに話しかけてくれるママさんに、元気を貰っているファンも多い。実際に取材で訪れた吉岡麻耶さん（アンチョビ＆近藤妙子役）のサインを保護するため、ファンがわざわざフィルムを買ってくれたそうだ。

そんなファンに愛されているママさんが、要望に応えて鉄板ナポリタンをメニューに加えた。そこで、今回はブロンズ流の鉄板ナポリタンを紹介。ぜひ皆さんもお試しあれ！





トロトロで簡単!



鉄板ナポリタンの上手な作り方

教えてくれた方 軽食・喫茶ブロンズ店主 **ママ**さん



1

今回用意した材料は、豚肉のコマ切れにウィンナーと卵が3個。野菜は、ママさんが自分で栽培しているピーマンと玉ねぎを使用。自家製だけあって野菜はとっても新鮮で、炒めてもシャキシャキとした食感が楽しめます。



2

沸騰した鍋にパスタを入れて、塩は使わずにオリーブ油のみを少々加えます。茹で方も独特でパスタを入れて蓋をした後、再沸騰したら火を止めて、そのまま約6分間待ちます。これが、アルデンテに仕上げる秘訣の一つでもあります。



3

卵は、茨城県特産の「おれんじ卵」を使用。普通の卵とは違い、濃いオレンジ色が特徴です。それをボールに入れてケチャップを少々加えた後、がっちりとかき混ぜないようにして、白身を切るように攪拌します。



4

パスタが茹で上がる前にピーマンを炒めて、別のお皿に取っておきます。これはパスタと一緒に炒めて、鮮やかなグリーンを損なわないため。ピーマンが苦手な方もより分けやすいようにという、ママさんの心配りでもあります。



5

先に玉ねぎとウィンナーを塩・コショウを加えて、玉ねぎがしんなりとなるくらい炒めた後に、いよいよパスタを投入。味付けは市販のケチャップのみで、手際よく炒めていきます。これが、懐かしい味わいの秘密となっているのです。



6

パスタに乗せるスクランブルエッグは、豚肉と玉ねぎを塩・コショウで炒めた後に溶き卵を加えていきます。最初は手早くかき混ぜた後、少しだけ手を止めて火を通します。こうすることで、パスタに乗せやすくなるのです。



7

熱した鉄板に完成したナポリタンを移して、先に炒めたピーマンをトッピング。この時点で、すでにジュージューというおいしそうな音と香りが厨房に充満。また、ナポリタンの赤にピーマンの緑が映えて、美しい彩りです。



8

最後にスクランブルエッグを乗せた後に、乾燥パセリを軽くふりかけて完成。スクランブルエッグはトロトロで甘く、ナポリタンの酸味とマッチ。熱した鉄板のため、ずっとアツアツの状態で食べられるのもうれしいです。

プロが教えてくれる おいしさの秘密

ごく普通にナポリタンをご家庭で作っていると、どうしてもパスタがベタベタになってしまうことが多い。そこでブロンズさんでは、なんと茹で上がった麺を水洗いすることで、引き締まって歯ごたえのあるパスタに仕上げているのだ。

「ちょっと水洗いすることで、パスタも引き締まりますし、麺の表面からベタつきも取れるんです。またフライパンで炒めたりするので、完成時にちょうどアルデンテになるんです」(ママさん)



軽食・喫茶ブロンズ

住所：茨城県東茨城郡大洗町磯浜町 684 秋山ビル 1F
電話：029-266-0721
営業時間：10：00〜18：00
定休日：不定休

鉄板ナポリタンのほかに、ガルパンにちなんだメニューを揃えており、どれも人気を博している喫茶店。新たにペパロニのパネルも設置され、文字通り看板娘となっている







■表紙の戦車
プラウダ高校
T-34/85

所属：プラウダ高校
生産：ソビエト
製造：第 183 ウラル戦車工場 ほか

CG：柳野啓一郎（グラフィニカ）
背景：滝口勝久（スタジオ・ちゅーりっぷ）

企画・編集・執筆
五十嵐智（バンダイビジュアル）
杉山潔（バンダイビジュアル）
小牧雅伸（スタジオ小牧）
千手創壱（スタジオ小牧）
鈴木貴昭
岡田邦彦
糟谷富美夫
モリナガ・ヨウ

執筆・編集協力
塩田昌之

写真提供
グランドパワー（ガリレオ出版）

カバー・本文デザイン
原田美穂（OverDriveDesign）
浜岡弘臣（OverDriveDesign）
中村浩樹（OverDriveDesign）

協力
バンダイビジュアル
アクタス
グラフィニカ
スタジオ・ちゅーりっぷ
水戸ホーリーホック
メディアファクトリー
防衛省 陸上幕僚監部広報室
陸上自衛隊土浦駐屯地広報援護班
防衛省 海上幕僚監部広報室
護衛艦「ひゅうが」
潮騒の湯
軽食・喫茶 ブロンズ
ムービック

大洗町商工会
常盤良彦（クックファン・大洗まいわい市場）
大里明（割烹旅館 肴屋本店）
大洗町の皆さま
ガリレオ出版
吉川和篤

発行日 2014 年 8 月 27 日
発行人 前田明雄
発行所 バンダイビジュアル株式会社
〒140-0002
東京都品川区東品川 4-12-4
http://www.bandaivisual.co.jp/
印刷所 株式会社テンプリント

【バンダイビジュアル お客様センター】
TEL：03-5828-7582
受付は月曜日から金曜日までの午前 10 時から午後 5 時まで
（祝日、年末年始を除く）

TU-0273

月刊戦車道

第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第4号

第63回戦車道全国高校生大会 増刊 第5号 次回予告

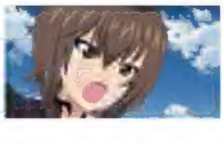
両雄激突！ すべてを賭けた戦いが、今始まる！

連載小説 聖グロリアーナ女学院、戦いの軌跡
聖グロリアーナ女学院×黒森峰女学園への道

いよいよ、黒森峰との準々決勝を迎えた聖グロリアーナ。予備車輌も投入した背水の陣で臨むダージリンは、強力な火力と装甲を備える黒森峰相手に、どのような作戦を取るのだろうか！




優勝常連校・黒森峰が強い理由とは!? ライバルチーム研究

第 62・63 回大会では準優勝ながらも、過去に 9 回連続優勝を誇る黒森峰。つねにトップクラスの実力を発揮する秘密と、王者の風格を備えた校風を、つぶさにレポートしてみました

戦場の働き者・工兵戦車をクローズアップ
不肖・秋山優花里の戦車講座

ユニークで頼りになる、特殊な戦車が集結。戦車を助ける戦車のなりたちと魅力をお伝えします



見逃せない注目記事でいっぱい

- グラフィック イン アクション
- 大洗女子チームメンバー 戦車愛を語る
- 大洗女子チームの日常
- プロジェクトG ～ガルパンを支えた人びと～
- ガルパン流 戦車の楽しみ方

etc.

第5号は10月29日発送開始！
ご購入は「バンダイビジュアルクラブ」まで
●アドレス
https://bvc.bandaivisual.co.jp/feature/119/

ガルパンBOOKコレクション

多種多様な、ガルパン関連書籍をすべてチェック。ガルパンの世界だけでなく、模型やゲームもこれらの本でバッチリです！

ガールズ&パンツァー完全設定資料集

渕上舞さん（西住みほ役）手書き修正台本（複製）も同梱された、ガルパン設定資料集の決定版



●発行：バンダイビジュアル　●7,000円（税抜）
●10月17日発売予定

ガールズ&パンツァー アニメ版権イラスト画集 戦車道少女寫眞集 壱



2012年5月より発表された、ガルパンのアニメ版権イラストを時系列順に掲載。現在では、閲覧困難なイラストも収録
●発行：アクタス　●3,000円（税抜）

ガールズ&パンツァー 戦車道、極めます！ ビジュアルガイドブック



攻略方法から各種データまで、ゲーム「戦車道、極めます！」を楽しむ情報が満載
●発行：KADOKAWA
●2,300円（税抜）

ガールズ&パンツァー エンサイクロペディア



登場人物やミリタリー関連、世界観関連用語など、1,150項目以上を収録した大事典
●発行：一迅社
●1,600円（税抜）

戦車に夢中です！ ―ガールズ&パンツァーとWorld of Tanksで学ぶ戦車読本



ガルパンで見られた試合戦術を始め、戦車の構造や歴史まで掘り下げた戦車授業教本
●発行：小学館
●1,900円（税抜）

ガールズ&パンツァー 絵コンテ集 Vol.1



TV版1～4＋OVA2話の絵コンテを完全収録。全3巻を予定
●発行：学研パブリッシング
●著者：アクタス　●監修：水島努
●2,200円（税抜）

ガールズ&パンツァー コンプリートブック



ストーリーや登場人物&戦車の解説だけでなく、主要スタッフのインタビューも掲載
●発行：学研パブリッシング
●2,700円（税抜）

戦車道ボードゲーム ぱんつぁー・ふぉー！！



ガルパンの戦車道をボードゲーム化。初心者にも分かりやすい、ルール解説DVD付き
●発行：国際通信社
●2,800円（税抜）

MFコミックス ガールズ&パンツァー 1～4



秋山優花里を主人公にした、もう一つのガルパン物語
●発行：KADOKAWA
●著者：才谷屋龍一
●各巻552円（税抜）

MFコミックス ガールズ&パンツァー もっとらぶらぶ作戦です！ 1～2



ハートフル成分多めな、ガルパン公式スピンオフコミックス
●発行：KADOKAWA
●著者：弐尉マルコ
●各巻505円（税抜）

MFコミックス ガールズ&パンツァー リトルアーミー 1～2



10歳だった西住みほと、3人の少女たちによる物語
●発行：KADOKAWA
●著者：槌居
●各巻524円（税抜）

MF文庫J ガールズ&パンツァー 1～3



武部沙織の視点で書かれた、戦車道ライフ・ストーリー
●発行：KADOKAWA　●著者：ひびき遊
●イラスト：島田フミカネ・京極しん
●各巻580円（税抜）

MFコミックス ガールズ&パンツァー コミックアンソロジー



豪華執筆陣が集結した、ガルパン短編コミック集
●発行：KADOKAWA
●著者：野上武志・才谷屋龍一ほか
●552円（税抜）

ガールズ&パンツァー模型道公式教本 大洗女子学園×黒森峰女学園



模型とフィギュア、そしてガルパンの設定資料を一冊に凝縮したビジュアルブック
●発行：KADOKAWA
●1,900円（税抜）

アハトゥンク・ガールズ&パンツァー ガールズ&パンツァー公式戦車ガイドブック



TV版に登場する全戦車のCGモデルや、車内設定ならびに人物配置などを徹底解説
●発行：大日本絵画
●2,000円（税抜）

ガールズ&パンツァー モデリングブック



戦車模型初心者に、分かりやすく制作方法を解説
●発行：大日本絵画
●著者：けんたろう
●2,900円（税抜）

ガルパン・アルティメット・ガイド



声優の中村桜&上坂すみれのスペシャル対談ほか。付録は3DCG映像メイキングBD
●発行：廣済堂出版
●3,000円（税抜）

大洗ガルパン トラベル・ガイド



渕上舞&吉岡麻耶オススメの大洗町ガイド本。付録に大洗女子購買部謹製ウォレット
●発行：廣済堂出版
●2,300円（税抜）

ガルパンの秘密 ～美少女戦車アニメのファンはなぜ大洗に集うのか～



ガルパンが多くの人に支持された秘密を、水島努監督など21人の証言から探るインタビュー集
●発行：廣済堂出版
●800円（税抜）

RCで楽しむ ガールズ&パンツァー



ガルパンの世界を、RC（ラジオコントロール）戦車で楽しむためのファンブック
●発行：八重洲出版
●1,500円（税抜）

ピアノ曲集 ガールズ&パンツァー ピアノ・ソロ・アルバム



主題歌のほか、BGMや雪の進軍、あんこう音頭までも収録した、ピアノ楽譜集
●発行：楽譜出版ケイ・エム・ピー
●2,000円（税抜）

ガールズ&パンツァー
GIRLS und PANZER
月刊 戦車道 特別編集
月刊 戦車道 第63回 戦車道全国高校生大会 増刊第4号

●発行：財団法人 日本戦車道連盟 Tel.1000-100-5050
●編集：月刊戦車道 編集部
●発売・販売元：BANDAI バンダイビジュアル株式会社
 TU-0273

